

道の徒聖

第一九五八年三月十七日第三種郵便物認可（毎月一回発行）
第六卷第六号一九六二年六月一日発行



末日聖徒イエス・キリスト教会



The Seito no Michi

June 1962 Volume 6, Number 6

In this Issue

A Prophet's Voice: You tell what you are.	 President David O. McKay	323
President's Message: Tithing—A Memory of my Father.	 President Paul C. Andrus	326
Your Question: Is it a Sin to kill Animals wantonly?	 President Joseph Fielding Smith	329
Bible Study for L.D.S. (under the light of modern revelation) (2)		
The Sermon on the Mount	 Brother Tatsui Sato	333
Ensign-Laurel, Course of Study		338
Pardon me, but your Religion is showing.		
Branch News		341
Nagoya, Sannomiya, Tokyo South, Abeno, Nishinomiya.		
A District Conference Report.		346
(Tokyo East Central District, Sendai-Yamagata-Nigata area)		
Special Articles :		348
Marriage (Brother Abe—Sister Shio, Sendai Branch).	 Brother Masao Watabe	
Japanese Poetry (Tanka and Haiku).	 Sister Yanagita and Sister Kitano	
Those who want to harvest	 Brother M. Katanuma	
Japanese Branch in Salt Lake City	 Brother T. Nakamura	
A Mother's Joy and Thanks	 Sister Yanagita	
Branch Teaching Lesson (for June)		360
Genealogy: The Book of Remembrance.	 Brother Masao Watabe	361
Church Articles		363
Sunday School Guide for S. S. Children		
Hymn Practice for June		
Sunday School Guide		
MIA Leader		
Essentials in Church History (30)	 President Joseph Fielding Smith	374
English Conversation Text		378
Mission Headquarter News		380
Quiz Room		384

「聖徒の道」 6月号

目 次

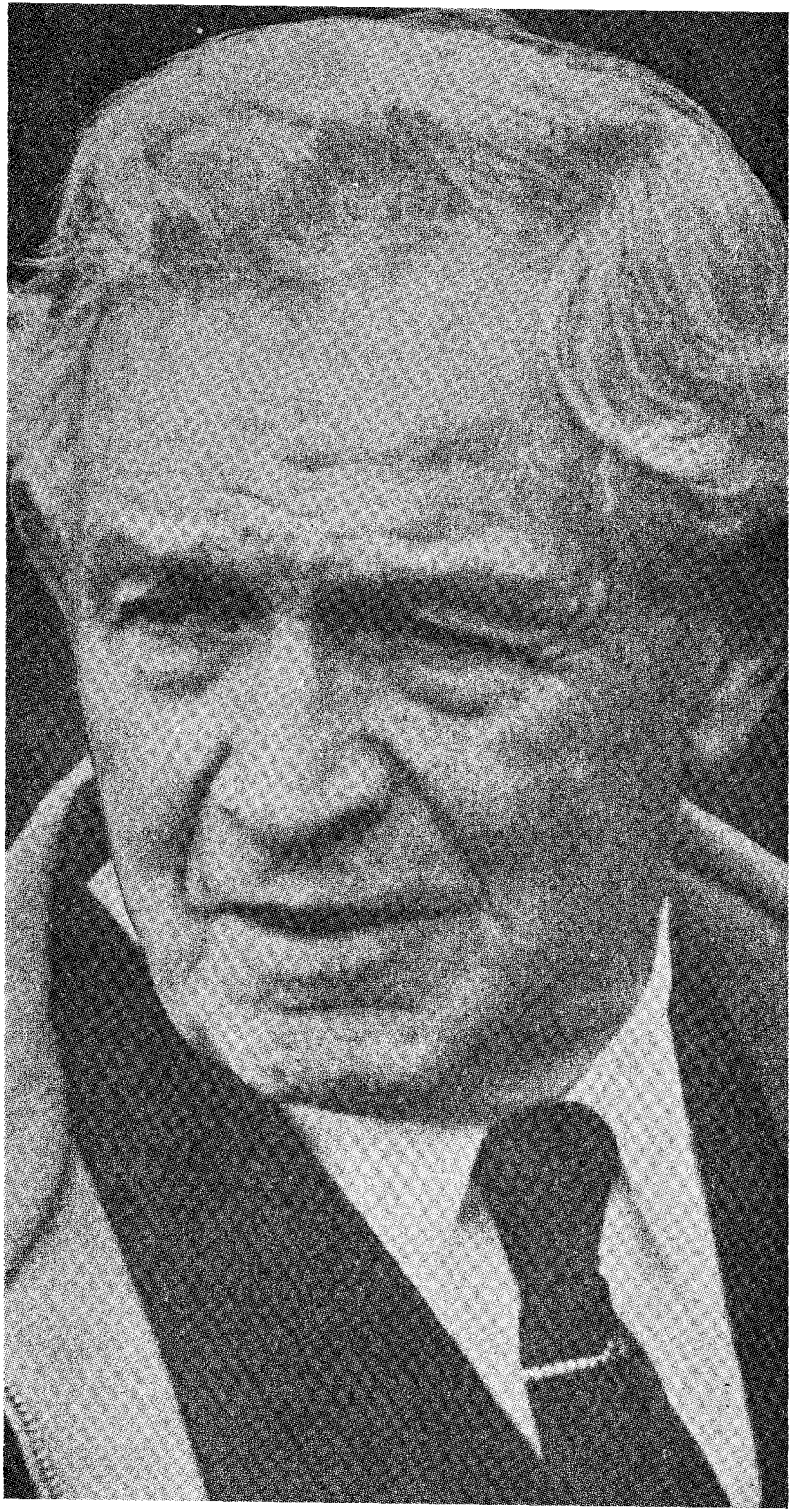


Kakayahi

予言者のことば…ことばはその人をあらわす……………大管長 デビド・O・マッケイ…323	
伝道部長メッセージ……………ポール・C・アンドラス…326	
質疑応答…「動物をみだりに殺すと罪になるか」……………ジョセフ・フィールディング・スミス長老…329	
聖書研究(近代の啓示に照らされて)…山上の垂訓……………佐藤 竜 猪…333	
エンサインローレル教科課程…失礼ですがあなたの宗教があらわれています……………338	
支部だより…名古屋、三ノ宮、東京南、阿倍野、西ノ宮……………341	
東中央地方部第三地区大会報告……………346	
仙台支部…阿倍、塩 信仰商家のお祝……………司式者 渡 部 正 雄…348	
文 芸……………柳田 聰 子 北野千穂子…351	
刈り入れんと欲する者は……………瀧 沼 誠 二…352	
日本支部だより……………中 村 武 史…354	
主の導きは私たちの能力を越えて……………高 橋 勝 俊…356	
或る母の喜びと感謝……………柳 田 聰 子…359	
ブランチティーチングレッスン……………360	
系図…記念の書(覚えの書)……………渡 部 正 雄…361	
子供の日曜学校ガイド……………七月用…363	
練習の讃美歌……………七月用…365	
日曜学校ガイド……………七月用…366	
MI Aリーダー……………370	
末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粋(30)……………374	
EIGO KAIWA TEKISUTO……………378	
伝道本部だより……………380	
クイズルーム……………384	



神殿を訪ねて ⑥
「ローガン神殿」
一八八四年五月十七日献堂
ソルトレーク市を北に八十三マイル
ほどいった Cache Valley という美し
い谿谷に位置している。
一八七七年に起工し、自由意志によ
る勤勞奉仕者は近くの山から木材や石
灰石を得、また、家畜類や農作物、お
金を惜気もなく出して一八八四年に完
成したのである。
当時のユタ州の北部、アイダホ州南
部のモルモンの喜びはたとえようもな
かったであろう。



予言者のことば

ことばはその人をあらわす

大管長 デビッド・O・マッケイ

今から百年ほどまえ、ある英国の港に帆船アマゾン号が碇泊していた。この船は教会の傭船契約によって英国からアメリカへ移民をはこぶ船であった。この船がいまや出帆しようとしていることを新聞で読んだある若い記者が、ノートと鉛筆を手にして波止場へやってきた。彼は教会の幹部から上船する許可を得ていたので直接見たり聞いたりしたことを記録した。この船にのっていた移民たちはこの記者が居たことをすこしも知らなかったが、記者はつぎのような記事を公けにした。

「怒りっぽい者は一人もいない、酒に酔っている者は一人もいない、のろいの言葉や粗暴な言葉を出す者は一人もいない、ふさぎこんでいる者は一人もいない、めそめそしている者は一人もいない、そして甲板の上下にはひざまづいたり、うずくまったり、横になったりすることのできる僅かのすぎがあると、あらゆるきゆうくつな姿勢で人々は手紙を書いている。

「さて、私はこの六月の今日までいろいろの移民船を見たことがある。しかし、この人々は私がこれまでに見たおなじような状態にあったほかの人々とはまるで違っている。そ

ここで私は『知らない人はこれらの移民を何だと思いかしら』といふのである。

「アマゾン号の船長の、日にやけた、油断なく目をくばっている顔が私の肩のところにあらわれ、そして口を開いて言う『本当に何だろう』と。これらの人の大部分はきのうの夕方乗船した。そして、お互いに一度も会ったことのない小さな隊をつくって英国の各地からやってきて、まだ乗船して二時^{ふたとき}もたっていないというのに、自分自身で治安を維持し、自分自身の規則をつくり、あらゆる船艙の口に自分たちで見張りをおいた。

「大ソルトトレークの岸辺にこの貧しい人々を待っているものは何か、どんな楽しい妄想をこれらの人々は今抱いているのか、そのときどんなに自分らの無鉄砲が悲惨であったかを悟ることであろうか、私はあえて言おうとはしない。しかし私は、彼らはそうなるにちがいないと固く信じていたから、彼らが反対の証^{あかし}を受けるに足る者であつたら反対の証^{あかし}をしようと彼らの船に乗りこんで行った。私がとても驚ろいたことに、彼らに反対の証^{あかし}を立てる資格は私になかった。そして、私が正直な証人であるためには、私のもって生れたたちや性向がじゃまをしてはならなかった。私は何か異常な力が、もっとよく知られている力のしばしは逸している異常な結果をそれまでに生じていたことを否定することができないと思いながらアマゾン号の船腹を見わたしたのである」。

この記者はほかでもないチャールス・ディッケンスであつた。そして彼の書いた記事は細大もらず「非営利的旅人」と名づける書物にのっている。

もしもわが教会へ改宗したこの人々が、そのことばと行いとを以て、ある力が自分たちを変えてしまったことをあらわさなかつたら、この記者はどんなちがった証^{あかし}をしたこと

であろうか。もしもこの人々が酒に酔い、けんかをし、のろいことばや下品なことばを
発していたとしたらどうであろうか。過去百年の間に何百万人という読者の目にふれる、
どんな物語をこの記者が書いたことであろうか。

「あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。いばらからぶどうを、あざ
みからいちじくを集める者があるうか。そのようにすべてよい木はよい実を結び、わるい
木はわるい実を結ぶ。よい木がわるい実をならせることはないし、わるい木がよい実をな
らせることはできない」(マタイ伝七〇十六―十八)という救い主のみことばは真理であ
る。

私たちは行いによって福音を伝える。私たちが家の中で行うことはいつも隣りに影響
を及ぼす。私たちの商売の仕方が、私たちの商売仲間にも変化を起させるにちがいない。
私たちは教会だけでなく、ゴルフコースに居ようと野球場に居ようと船の中に居ようと
避暑地に居ようと、すべて私たちの行いによって判断されるにちがいない。私たちはどこ
に居ても末日聖徒イエス・キリスト教会を代表している者である。

教会員は一人のこらず宣教師である。私たちも、パウロやシラスやペテロが免れること
ができなかったように宣教師である責任を免れることはできない。彼らもまた、まず福音
の第一原則に従い、次にイエス・キリストが現に生きたまい、世の人のために十字架にかか
りたもうた後三日目に復活したもうたことを証しし、その証詞のために自分らの所有する
すべてのものを喜んで捧げたので、すっかり変った人となって不朽の名を得たのである。



ポール・C・アンドラス

「自分の一」―父のおもい出

私は十七才の青年であったとき、家を離れて、私の就職をした別の町へ行きました。私はこのときまだ年も若く経験もない身でありましたが、出世をし成功をする目的を抱いて世の中へ出て行くこうとして居りました。私が家を離れる前に、父は私を別の所へ呼んで、私に別れの忠告をしてくれました。父は、私が前途に横わっている未知の経験をふみこえて行くときに一番役に立つと考えていた忠告を私にしてくれました。父の忠告は簡単に短いものでした。父は「ではポール、教会へ行けよ、自分の一を払えよ」と言いましたが私は一生この言葉を忘れないでしょう。

私はその忠告を守りますと父に約束をしてから、もう二十年の年月がたちましたが、私は今それが誰から受けた忠告よりも一番よい忠告であったことを証しすることができます。また私は、第二次世界大戦で、大学の生活で、実業界で、伝道部で、また妻子を扶養する父親として、いろいろの経験をしましたが、父の忠告はいつも私が義しい道をふみはずさないで行くために、きわ立って為になったことを証しすることができます。それはよい忠告でありますから、私はこの伝道部の教会員の一人のこらずに(一)教会へ出なさい(二)自分の一を納めなさい、と申します。

自分の一の律法は、古代にも現代にも、主なる神さまが啓示をなさいました。それでありますから、この誠命を忠実に守る人々には大した約束がありません。では、私と一しょに旧約聖書マラキ書第三章の八・九・十節を読んで下さい。そこで主なる神さまは、

「人は神の物を盗むことをするだろうか。しかしあなたがたは、

わたしの物を盗んでいる。あなたがたは『どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでいるのか』と言う。十分の一とささげ物をもつてである。あなたがたは、のろいをもつてのろわれる。あなたがたすべての国民は、わたしの物を盗んでいるからである。

わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉にたずさえてきなさい。これをもつてわたしを試み、わたしが天の窓を開いてあふるるめぐみを、あなたがたに注ぐか否かを見なさい。

と仰せになっています。この聖句は、昔の時代にも今の時代にも、教会員非教会員を問わずあらゆる人にあてはまります。主なる神さまは什分の一を払わないで神の物を盗んでいる人々を強く叱つておいでになります。また什分の一を払う人々にはみな大した約束をしておいでになります。主なる神さまは、天の窓を開いて、あふれるほどの大きなめぐみを注ぐと約束なさっています。

現代に於て主なる神さまは、

「見よ、人の子の来るまで今より後を『今日』と称えらる。誠に『今日』はぎせいの日、わが民の『什分の一』を捧ぐる日なり。

この『什分の一』を納めたる者は人の子の来る時火に焼かることなし。『今日』を過ぐれば火に焼かる時来らん。われ主の言いつ方によりて語る。われ誠に告ぐ、明日すべて高ぶる者と悪を行う者はわらの如くにならん。われは万群の主なれば、彼らを火にて焼きつくし、すべてバビロンに留まる者一人も助くることなからん。この故に汝らもしわれを信するならば、『今日』と称えら

る中に汝らの働きをせよ」(「教義と聖約」六十四〇二三—二五)。

と仰せになっています。この聖句の中でもまた主なる神さまは、『什分の一』の律法についてひじょうにはつきりと言って、各自の「什分の一」を忠実に納める人たちにまた大した約束をしておいでになります。その約束というのは、「什分の一」を納める人々は、すべて高ぶる者と悪を行う者がわらのように焼きはらわれる主の再臨の時、火に焼かれないというのであります。

「什分の一」を納めることはひじょうに大切でありますから、正直に「什分の一」を納めない人は誰でも教会員として立派な資格のある人と認めることができません。完全に「什分の一」を納めている教会員だけが神殿へ入って、神殿の中で受ける数々の祝福を授けられます。完全に「什分の一」を納めている人々だけが、教会の責任ある地位へ召されます。今までもまたこれからさきも、いつも主なる神さまのとくべつすぐれた祝福は、正直に「什分の一」を納める人々のためにとつておいでありますが、一方正直に「什分の一」を納めない人々は「什分の一」の律法を忠実に守り行う場合に定めてある祝福をけつして受けることができせん。

教会員の中には、「什分の一」を払えないほど自分は経済的に苦しいと思つている人たちがあります。そしてこの人たちは、このように苦しい経済状態であるから「什分の一」を納めなくても神さまにすまないことはないといふ腹の中で考えております。このような教会員は明白に重大な誤ちをしている上に、また前に述べた聖句の中で

主なる神さまが触れておいでになりますおそろしい結果におちいる危険があります。事実をはっきり申しますと、経済的にひじょうに苦しい人こそまず第一に自分の「什分の一」を納めるべきであります。このような人こそもっと経済的に楽な人々よりも一層多く主なる神さまの約束なさった祝福が必要であるからであります。もしもあなたが経済的に困っているなら、その経済上の困難から抜け出す力となる主なる神さまの祝福を受ける資格ができるために、まず第一に自分の「什分の一」を忠実に納めるべきであります。

千九百三十年代の初期にアメリカ合衆国をおそった大不景気の最中、私の父は息子たちに対して、逆境に際して忠実に「什分の一」を払うことがどんなに為になるかを教えてくれました。私の母は千九百三十四年に亡くなりましたので、父は十一を頭にまだ二つにもならない子を含めて五人の子供の世話をしなくてはなりませんでした。私の父は銅の精錬所に雇われていましたが、仕事のある日は一週間にわずか二日か三日で、ある時には全く仕事がなかったこともありました。父はそのわずかな給料を月に二度受けていましたが、それはたびたび支払いにも足らず、また腹をへらしている子供たちに食を与えるにも足らないほどでした。家計簿は「什分の一」を払って家族を養うに足る収入のないことをはっきり示していました。

このような窮境にあっても、父は万事を天にまします父なる神にお任せして、次の給料日まで食料を買う充分なお金のがこらないのを承知の上、何事もさしおいてまず自分の「什分の一」を払ったの

でありました。

これは本当に強い信仰のいることでした。それにもかかわらず父は「什分の一」を払いつづけましたが、奇蹟的に主なる神さまは私たちの家族が次の給料日まで食べて行く手段を与えて下さったのであります。これは本当に一度ならず度々起ったのであります。

私の父は、その息子たちに言葉でもって「什分の一」を払うことを教えました。父はきわめて困難な経済的の事情の中で、自分の「什分の一」を忠実に払ってみせて、私たちに生きた教訓をしたのであります。私自身、身を以てこの経験をしたのでありますから、私は今貧乏で暮しに困っている人たちに向って、少しもためらわずに「あなたの什分の一を納めなさい。それがあなたの為すべきことです」と申します。私は、もしその人たちが各自の「什分の一」を払うなら、主なる神さまは必ずその人たちをめぐみたもうにちがないことをはっきり知っております。

私は当伝道部のすべての会員に向い、主なる神さまがお言いになる次のような挑戦に応じるよう、心から勧める次第であります。

「私の宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉にたずさえて来なさい。これをもって私をこころみ、わたしが天の窓を開いて、あふるるめぐみを、あなたがたに注ぐか否かを見なさい」(マラキ書三〇十)

「まずこれを為して後、かくの如く什分の一を納めたる者は、以後毎年彼らの得る全利益の什分の一を納むべし。これを以て、わが聖なる神権のためにする彼らの守るべき永久的定法となす、と主は言う」(「教義と聖約」百十九〇四)。



解答者 ジョセフ・フィールディング・スミス長老

「動物をみだりに殺すと 罪になるか」

質問。

「私は教会を批難するためにこの質問をしているものではありません。私は教会が正しいか正しくないかを伺ってさえもないのであります。しかし、実のところこれは私が長い間知りたいと思つてきた問題なのであります。聖書については、疑わしいところはないと思われまふ。主は命を保つ必要がないなら、人間に動物を殺させたくないと思つておいでになります。またあなたはその著書「教会歴史と近代の啓示」の中で、これとおなじ考えを述べ、スポーツのために生き物を殺すことは罪であると言つておられます。私はこれがまったく本当であると信じてそのように私の生活を律してまいりました。私がいま不思議に思つてゐるのは、現在狩猟がさかに行われているわが国で、なぜこの事が一般に教えられていないかという事であります。私は多くの狩猟者がその殺した獲物を自分で食用にしていることをよく知つてゐます。しかし、これだけではスポーツのために動物を殺すことが正しいとは言えないと思ひます。この問題についてあなたのお考えを述べてくださいますなら、まことにありがたいことであります。

解答。

聖書を読むと、ノアの時代よりまえに鳥獸そのほかの生き物の肉が食用に供されてゐたことを示す記事は見あたらない。主なる神が肉を食用とすることについて命をお下しになつたのは、箱舟が地についてから後のことであつた。

聖書にはこの許しがノアとその子孫たちに出たことが次のように

記してある。すなわち、

「地のすべての獣、空のすべての鳥、地にはうすべてのものの、海のすべての魚は恐れおののいて、あなたがたの支配に服し、すべて生きて動くものはあなたがたの食物となるであろう。さきに青草をあなたがたに与えたように、わたしはこれらのものを皆あなたがたに与える。しかし肉をその命である血のままで食べてはならない。

あなたがたの命の血を流すものには、わたしは必ず報復するであろう。いかなる獣にも報復する。兄弟である人にもわたしは人の命のために報復するであろう」(創世記九〇二—五参照)。

主なる神はまたこれを予言者ジョセフ・スミスに次のように啓示された。すなわち、

「さきに青草をあなたがたに与えたように、わたしはこれらのものを皆あなたがたに与える。しかし食用としてあなたがたに与えたすべての肉の血はこれを地上に注ぎ、これによって命をとり、その血を食用としてはならない。そして、あなたの命を救うために肉を食用とするほか必ず血を流してはならない。それで、あらゆる動物の血に対して私は必ず報復するであろう」(ジョセフ・スミス改訳聖書、創世記九〇九—十一参照)。

この聖句には、食用とするときには生き物の血を流しても罪にはならないが、それでもその肉はひかえ目に用いるべきであるという意味が含まれていると解せられる。みだりに鳥獣を殺したり魚をとったりすることが人間の特権であると解せられるところは一つもない。主なる神は空の鳥にも地の獣にも水の中の魚にも、あらゆる生

き物にひとしく生命をお与えになった。彼らもまた、産めよふえよ地球に満ちよという命令を受けている。すべての生き物は、空に地に水に於て各々その命を楽しめというのが神のみこころであった。

それであるから、みだりにこれらの生き物の命をとることは主なる神から見て罪になることである。命をとることはたやすいが、これをもとに返すことは誰にもできない。そのうえに、はっきりとことばで言っていないにせよ、少くともすべての生き物は各々の境涯に於て幸福であれと解釈されるではないか。もしも空の中、地の上もしくは海にあるすべての生命がとり去られたなら、この地球はいかにも荒れはてた世界になるではないか。春のおとずれとともに朝早くから自分の歌をうたう「こまどり」のさえずりを耳にするとき人はこの上もない楽しさを感じるではないか。「つぐみ」や「ひばり」のなき声、さては飼犬のほえ声さえも、各々その生命のいとなみを喜んでいるように聞えるではないか。まことにその通りである。人間は、どの生き物とも一層親しんでけつして敵となつてはならない。主なる神が彼らをこの地球におきたもうたからである。

大部分の読者諸君は、「シオンの陣営」の兄弟たちが、敵から苦しめられている会員たちを救助する目的で不吉な旅をつづけていた時の話を読まれたことがあるにちがいない。もし読んだことがあつても、それはここでもう一度お話をする価値がある。予言者ジョセフ・スミスは次のように記している。

「われわれは「エンバラス川」をわたり、その一マイルほど西にあたる小さな支流のほとりにキャンプをした。私のテントを張ると

き、そこに三匹の小さな「ガラガラヘビ」が居た。兄弟たちはそれをみつけるとすぐさま殺そうとしたが私は兄弟たちに言った。『ほっておきたまえ、彼らを傷つけてはならない。神の僕でもある者が害意を抱いて戦いを挑みつづけるならば、どうしてこの蛇がその毒をなくすることがあるだろうか。人間はおそろしい生き物の命をとらないようにならなくてはいいけない。人間が害意をなくして動物を殺さなくなったとき、獅子と子羊とは共に住み、乳のみ児は安全に蛇とたわむれることができるにちがいない』と。兄弟たちはその蛇を杖のさきにひっかけ、小川の向うへもって行つてすてた。私は兄弟たちに、もしも飢えから身を守ることが必要にならなければ、この旅行中には一匹の蛇も一羽の鳥も一匹の動物も殺してはならないと訓戒をした。

「私はこの問題についてたびたび話をしておいた。すると或る時私は木の上に居る一匹のリスにじっと目をつけている兄弟たちにくわした。そこで彼らをためして私の勧告に氣をつけているかどうかを知ろうと、彼らのもっていた銃の中から一つを手にとると、一発でそのリスを木からうち落してそのまま通りすぎた。私のすぐあとについていたオルソン・ハイドがそのリスをつまみあげて言った『何にもこのらないようにこれを料理しよう』と。(註。リスのような小さなものを料理しても食うところはほとんどない。飢えをしたぐ以外には殺してはならないということを実地に教えたのであった)。私は兄弟たちが、何のために私がリスをうち落したかを悟り、生き物の命をとらないで私の戒めに心するようになったことを認め

た。

われわれは、「適者生存」の必要にせまられるとき、また生き物がわれわれ人類にとってわざわざいになるとときには、その命をとらねばならぬことがたびたびあるのをよく知っている。

今から何年も前に、ジョセフ・F・スミス大管長は教会の若い人々に向つて次のようなすぐれた勧告をしたことがある。「私は、血を流すことと命をとることにつき、すでに言ったことにつけ加えて少々皆さんに話すことがある。私は、これまでに話した美しい情緒がすべての人の心に強い印象を与え、また農夫や人類にとって敵である害虫をとって生きているわが国の罪のない鳥を殺す話がつての人々に大いに強い印象を与えたと思う。罪のない鳥を殺すのは悪いことであるばかりでなく、私は憎むべきことであると思つてゐる。

私はこの原則をひろげて、鳥の命をとるだけでなくあらゆる動物の命をとることにまで及ぼすべきであると思う。私が数年前にイエローストン国立公園をおとすれて、小川の流れや美しい湖の上にたくさん鳥がまった人間をおそれずにおよいで居り、通りかかる人がよく飼ひならされた鳥と同じくらしいの近い距離に近よつても何のおそれも感ぜずにとび立たないのを見たとき、また美しい鹿の群がいくつも家畜のように人間をおそれず道ばたにむらがつているのを見たとき、この国のどこへ行つても、とくにシオンに住む者の中には狩をする者が一人もなく、罪のない鳥獣を苦しめる者が一人もない理想の時代を今の世でさきに見た思いがして、ある程度の安らぎと喜びを心に覚えた。この公園にいる鳥が、人間の住んでいるほかの

地方へ行つたとしたらどうであらう。人間はこの鳥が人になれてゐるのをよいことにしてすぐさまうち殺してしまふであらう。これと同じことが美しい鹿やカモシカの群についても言える。もしこれらの動物が、この公園のように保護を与えていない地方へ迷つていったらどうなるであらう。もちろん、これらの動物の命をねらっている人間たちのえじきになつてしまふであらう。私はなぜ或る人間が動物の命をとりたいたいというような血に飢えた心根をもっているのか考えてみてわからない。私は、現在も私たちの社会の中にいる多くの人々を知っているが、この人々はその言うところの「狩猟のスポーツ」を楽しみにして無数の鳥を殺し、一日の「スポーツ」を終ると家へ帰つてきて、罪もない鳥を今日は何羽うち落したと言いながらその虐殺に熟練していることを自慢する。そして狩猟が法律で許されている期間中は、群をなして狩りに出て行く。それであるから、狩猟解禁日の朝は、まだ夜の明けないうちから大会戦が始まつたような銃声がひびきわたり、罪もない鳥を虐殺するおそろしいわざがつつけられるのである。

「私は、人間が食用にする必要にせまられたときのほかは鳥獣を殺してもよいとは思わない。それであるからまた、食用にならない罪のない小鳥はけつして殺してはならないのである。私は、大い生き物を見ると何でも殺したいと思う心を人々が持つのは大きなまちがひであると思う。私は或る有名な人々に会つて驚いたことがある。これらの人々は狩に出て行つて、鹿でもカモシカでも大鹿でも何でもみつけ次第にうちとる。何のためであるか。ただなぐさみ

にするだけのことである。これらの人々は腹がへつていて狩のえものを食べないと生きてゆけないとでも言うのか。ただ射撃をして生き物の命をとりたいたいだけのことである。私はこれらのことについて次の詩に言つてあることを固く信ずる。

「とつてはいけない、

与えることのできない命を、

ありとあらゆる生き物は、

生きる権利を平等にもっているから。

（福音の教義「人間同志の義務」）

「彼らが呼ばないさきに、私は答え、

彼らがな お語っているときに、わたしは聞く、

おおかみと小羊とは共に食ひ、

ししは牛のようにわらを食ひ、

へびはちりを食物とする。

彼らはわが聖なる山の、

どこでもそこなうことなくやぶることはない、

と主は言われる。

（イザヤ六十五〇二十四―二十五）

今こそ予言者が言つたように人々が模範を示すもつともよい時ではないか。

（インプルーヴァントエラ誌、一九六一年八月号）



山上の垂訓

佐藤龍猪

テキスト——一九五四年改訳聖書「マタイによる福音書」第五章、一—四十八節、第六章、二十五—三十四節。モルモン経「ニーフアイ第三書」第十二—十三章。

「イエスはこの群集を見て、山に登り、座につかると、弟子たちがみもとに近寄ってきた。そこで、イエスは口を開き、彼らに教えて言われた」（一一二）。

有名な「山上の垂訓」は「マタイによる福音書」ではこの言葉で始まっている。そしてこの次に「八福の教え」（Beatitudes）さいわいであるという言葉が八つあるからこのように言われている）の「こころの貧しい人たちはさいわいである、天国は彼らのものである」という最初の聖句が出てくる。

モルモン経「ニーフアイ第三書」第十二章

には、新約聖書「マタイによる福音書」の第五章とほとんど同様の「山の上の説教（「山上の垂訓」）がのつていて、その中にはやはり「八福の教え」があるが、新約聖書とちがって「八福の教え」に入る前に相当長い「前書き」がある。その全文を誌すと次の通りである。

「イエスは、これらのことをニーフアイと召されたほかの者たち（召されてバプテスマを施す権能と威勢とを授けられた者の数は十二人である）とに命じたもうてから、群集に向い手を伸べて仰せになった『もし汝ら、われが汝らの中より選び出して汝らを教え導く者とし、汝らの僕となしたるこの十二人の者の言葉に聞き従うならばさいわいなり。われは水を以て汝らにバプテスマを施す権能をこ

の十二人の者に授けたり。汝らが水にてバプテスマを受けたる後、われは火と聖霊とによるバプテスマを汝らに施す。されば汝らもしもわれを見、またわれが神なるを知りて後われを信じてバプテスマを受くるならばさいわいなり。また汝らわれを見てわれが神なることを証する時、汝らの証を信する者たちはなおさらさいわいなり。汝らの言葉を信じ、ひくくへりくだりてバプテスマを受くる者たちは火と聖霊とを授けられて罪の赦しを受くる故にまことにさいわいなり」。

この「前書き」は、これにつづく「八福の教え」だけでなく「山上の垂訓」のすべてにかかる「前書き」であって、これによって始めてキリストの説教の中で最も重要な説教の一つである「山上の垂訓」、中でもとくに「八福の教え」の真意がはっきりとわかるのである。

この「前書き」で明らかであるように、イエス・キリストは「十二弟子」を選んでこの者たちにバプテスマを施す権能と権能とをお授けになつてから、群集に向つて「山の上の説教」（「山上の垂訓」）をニーフアイ人の地で再びお説きになった。そして、この「十二弟子」の証を受け入れて、イエスが神であるこ

とを信じ、バプテスマを受け、火と聖霊とを授けられて罪の赦しを受ける者はさいわいであると言って、イエス・キリストと福音を受け入れることがまず第一に大切であることを強調しておいになる。

それであるから、この「前書き」に強調してある点は「八福の教え」の一つ一つについてもまた強調してあるのである。

「このころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである」(マタイ五〇

三)

「へりくだりたる心にてわれに来る者たちはその住むべき所天の王国なるが故にさいわいなり」(ニーフアイ第三書十二〇三)

この二つをくらべて見れば、どちらの方が真意をはっきりとあらわしているか一目瞭然である。「心の貧しい人たち」を字義にとらわれて解するなら「霊性の乏しい人たち」である。「霊性の乏しい人たち」が「さいわいである」わけがない。

「このころの貧しい人たち」すなわち「謙遜な」「へりくだった心」で「われに来る」(前書きに強調してある点)すなわち「イエスが

神であることを信じ、バプテスマを受け、火と聖霊とを授けられて、罪の赦しを受ける」者たちは「その住むべき所天の王国」であるから「さいわい」である。

「天の王国」(The kingdom of heaven)には二つの意味がある。一つは「父なる神の住みたもう日の栄の王国」であり、もう一つは「神のまことの教会」である。(聖徒の道一九六一年十月号五五九頁参照)。

「さいわいである」とは単に「しあわせである」というだけではない。「キリストから火と聖霊とを授けられて、罪の赦しを受け」「その住むべき所天の王国」であるから「まことに誠に、神のめぐみを受ける」のである。

「悲しんでいる人たちは、さいわいである。彼らは慰められるであろう」(マタイ五〇四)

「すべて悲しむ者は慰めを受くべき故にさいわいなり」(ニーフアイ第三書十二〇四)

この聖句は単に「悲しんでいる人は慰められるであろうから、悲しんでいない人よりもさいわいである」というだけの意味ではない。さきに挙げた「前書き」で強調してある点はここにも関聯があって「すべて悲しむ者

は」(われに来るならば)すなわち「イエスが神であることを信じ、福音の儀式を受け、イエス・キリストの復活を信するならば」慰めを受けるはずであるから「さいわい」であるという意味である。

「義に飢えかわいている人たちは、さいわいである。彼らは飽き足りるようになるであろう」(マタイ五〇六)

「義を渴望する者は聖霊に満さるべき故にさいわいなり」(ニーフアイ第三書十二〇六)

「義」は「神」と同意語である。「正、不正」の「正」だけの意味ではない。「彼らは飽き足りるようになる」とは何に飽き足りるようになるのか、新約聖書では、はっきりと言っていない。しかしニーフアイ第三書では「飢えかわくように神をしたい求める者は(われに来るならば、すなわちイエス・キリストと福音とを受け入れてバプテスマを受けるならば)聖霊に満される故にさいわいである」ときわめて明瞭に言っている。

「義のために迫害されて来た人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである」(マタイ五〇十)

「すべてわが名のために迫害を受ける者はその住むべき所天の王国なるが故にさいわいなり」(ニーフアイ第三書十二〇十)

前にも述べたように「義」は「神」と同意語であつて、「義のために迫害される」ことは「神のために迫害される」ことである。ニーフアイ第三書ではこれを「すべて(われに來る者、すなわちイエス・キリストと福音とを受け入れ、バプテスマを受けて)わが名のために(すなわちキリストを信ずる者、キリストチャンであると公言するために)迫害を受ける者はその住むべき所が天の王国である故にさいわいである」と言つてある。新約聖書では「迫害されて來た人たち」と現在完了形で示してあるのに、モルモン経では「迫害を受ける者」と現在(未來の意も含む)形であらわしてあるのは注目に価する。

「わたしが律法や予言者を廢するためにきた、と思つてはならない。廢するためではなく、成就するためにきたのである。よく言つておく、天地が滅び行くまでは、律法の一点一画もすたることなく、ことごとく全うされるのである」(マタイ五〇十七・十八)

「われが律法または予言者らの予言を亡ぼすために來れりと思ふなかれ、われが來るは律法の目的を達せしめ予言を成就せしめんためなり。まことに汝らに告ぐ、律法は一言半句にても亡ぼしたところなし。ただ、われによりてことごとくその目的を達してその効用なくなりたるのみ」(ニーフアイ第三書十七〇十八)

「律法」は「モーセの律法」である。「モーセの律法」が「成就する」(be fulfilled)とは、ニーフアイ第三書にはっきり言つてあるように「モーセの律法の目的が達せられる」ことである。予言が「成就する」とは、予言が「事実となつてあらわれる」ことである。「モーセの律法の目的」は「贖い」であつたから、イエス・キリストが「ゲッセマネの園」と「十字架」と「復活」とによつて「贖い」を為し終りたもうので「モーセの律法の目的」は達せられ、その効用はなくなつたのである。新約聖書には、未來の意を含む現在形で「律法の一点、一画もすたれることなく、ことごとく全うされるのである」としてあるのに、モルモン経では「われによりてことごとくそ

の目的を達してその効用なくなりたるのみ」と過去形であらわしてある点は注目に価する。

「天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように。御國が來ますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われましように。わたしたちの目ごとの食物を、きようもお与えください。わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもおゆるしください。わたしたちを試みに会わせないで、悪しき者からお救いください」(マタイ六〇九一十三)

「天にましますわれらの父よ。御名を崇め奉る。御旨の天に成し遂げらるる如く地にもこれを成し遂げたまえ。われらに對して罪を犯す者をわれらの赦す如くわれらの罪をも赦したまえ。われらを誘惑に達わせず惡より救い出したまえ。主權と威勢と榮光とは永遠にこれを汝に歸し奉る」(ニーフアイ第三書十三〇九一十三)

この二つをくらべてみるとわかるように、ニーフアイ第三書にのつてゐる祈りのことばの中には「御國が來ますように」と「わたし

たちの日ごとの食物をききようもお与えください」の二つの聖句に相当する聖句がなく、「主権と威勢と栄光とは永遠にこれを汝に帰し奉る」という聖句が別についている。また「われらを誘惑に逢わせず悪より救い出したまえ」(And lead us not into temptation, but deliver us from evil)という聖句の意味は「わたくしたちが誘惑(防ぎきれないほどの)に陥じ入れられるのを放置せずに、悪(悪魔)の手からお救い下さい」(And suffer us not to be led into temptation, but deliver us from evil)というのである(ジョセフ・スミス改訳聖書マタイ伝六〇十四、マツコンキー長老著「モルモンの教義」七〇六頁参照)。「それだから、あなたがたに言っておく。何を食べようか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか」(マタイ六〇二十五)

「イエスは右のことを述べたもうてから、すでに選びたもうた十二人に向って次のように仰せになった『われが宣べたる言葉を忘る

な。われがこの民を教え導くために選びたる者はすなわち汝らなり。われ汝らに告ぐ。汝らはその命をつなぐために何を食ひ何を飲まんとて思いわずらうことなかれ。その身体に何を着んとて思いわずらうことなかれ。命は飲食よりも貴からずや。また身体は衣服よりも貴からずや」(ニーフアイ第三書十三〇二十五)

「マタイの福音書」第六章二十五節に行きあたる人は誰でも、その一般人にとってあまりに理想的な、現実の生活では言うべくして行い難い教えにおどろくのである。道を求める人々の中には往々つまづきとなる者さえもある。しかし聖書全体を注意して読む者は、これが一般人のに向けて言われたものでないことに気がつくであろう(ルカによる福音書第六章十二節以下参照のこと)。

モルモン経、ニーフアイ第三書、第十三章二十五節のはじめにはこのことがはっきりとわかっていて、誰にもその真意がまちがいないわかるようになってくるのは誠に有難いことである。すなわち第二十五節以下のことばはイエスがとくに選んで真理の証人となしたも

うた「十二人の弟子」に向けて言われたのであって、一般の人々に向けて言われたことばではなかったのである。

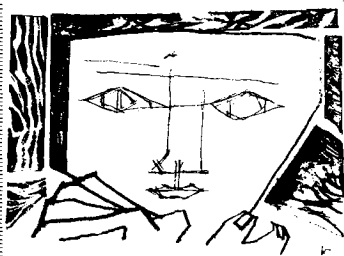
総括

(一)「山上の垂訓」の或る部分を、新約聖書「マタイによる福音書」と「モルモン経ニーフアイ第三書」とから引用した聖句を比較対照することによってしらべ、モルモン経の聖句が新約聖書の聖句の真意を明らかにするに役立つことを示した。

(二)モルモン経、ニーフアイ第三書第十二章一―二節は「山上の垂訓」の「前書き」と見られるものであるが、これによってはじめ「山上の垂訓」とくに「八福の教え」の真意が明らかになる。

(三)「主の祈り」を比較して示した。

(四)「マタイによる福音書、第六章二十五節以下」の聖句は一般の人に向けて言われたのではなくて、とくに選ばれた「十二人の弟子」たちに向けて言われたことばであった。



私たちは誰でも「自分の宗教」をもっている。すなわち、人は誰でも生活の中にあらわれる道徳上の問題に対する自分自分の答えをもっている、私たちは日々実行している「宗教」と主イエス・キリストの福音とを完全に一致させるためにどうしたらよいか。

……問題点

失礼ですが

あなたの宗教があらわれています

エンサインローレル教科課程

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚ろくべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

「ペテロ第一の手紙」二〇九

人のもっている本当の性格を正確に判断するには、その人があなたの批判的の眼に気づかないで、考えたり行ったりすることを見なければよいのです。この教訓を一度おぼえろと、自分の友だちや仲間のねうちをはかる大

そう後に立つ手びきにすることができます。

しかし、これと同じ教訓が「再びわが身にふりかかる」ことを忘れてはなりません。というのは、これと全く同じ方法でほかの人たちはたえずあなたの人がらを判断しているからであります。私たちはそんなに長くつき合わないうちに、相手の人々が言っている言葉のうしろにある真相を探り始めます。一般に言って、自分も人も、相手の人の言葉を聞いてその人を確めようとしたがっています。

私たち末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、自分とほかの人々をあざむかないという特に大切な責任を負っています。予言者ジ

ヨセフ・スミスの名前は善くも悪くも世界中の人に知られるという予言は事実となつてあらわれました。それでありますから、あなたがジョセフ・スミスの組織した教会の会員であるということは、世界中どこへ行ってもその人々が大きな興味を抱くものになるのであります。奇妙なことに、ほかの人々はあなたがモルモンであるということを知ると、ほとんどすぐにあなたの着けている「よろいかぶと」にどこかすきがないものかと目をつけ始めます。この人たちは、どこかにあなたの弱点をあらわしているすきがあるにちがいないという予想を始めからもってあなたたち

を見ます。それというのは、この人たちが、人は「全く正統的」の「モルモン」であり得なくともなおかつ「一通り標準」の「モルモン」であるという印象を一般にもっているからです。

ワシントンD・C.のスタットラーホテルで催された合衆国大統領祝賀晩餐会に筆者が出席したとき、私は全く見知らぬ人々にまじって食卓についていました。私と一しょに食卓についている人々は、みなわが国で最も有名な団体の最も重要な事務取締役たちでありました。食事が行われている間に、私は食卓でとりかわされていたこの人々の会話に大へん興味を覚えました。そして私も度々あなたの御意見も伺わせていたきたいと言われました。この人々の一人が世界最大の蒸溜酒製造会社の社長でしたから、賓客に対する礼儀として食卓には最高級のシャンペン酒が備えてありました。

シャンペンが杯に注がれたとき私は胸の中で言いました「さて末日聖徒にとつてこまるようなことになったな。シャンペンがどんな味がするかわりたい好奇心があった者にとつてはとくにこまるな。ここに居る者は一人もこれまでに会ったことのない人だから、私がモルモンだということは誰も知っているはずはない」と。そのまま数分たつと、私がそれまで食事中に私の仕事のことを話していたと

なりの男が私の方をふりむいて言いました。

「あなたはモルモンでしたな。ワシントン出身の男の一人があなたがモルモンだと教えてくれたんですよ。それはニューヨークにいる私のひじょうに親しい友人でして……（この人が言った名前は、ニューヨーク地方に於ける活潑な末日聖徒である一流実業家の名前でした。私はあなたが私の友人と同様りっぱなモルモンかどうかひじょうに知りたいと思っていました。ところがあなたはこのシャンペンに指一本さわりませんでしたね。そこで私はあなたがりっぱなモルモンだと私の友人に言つてやれると思います」と。

人はたとえ独りでいても、ほかの人から見られていない時はありません。主なる神は私たちの心の一番奥にある思いでもよく知っておいてになります。

私たちの宗教とは何でありますか。それは何かの書物にのっている或る信条のことです。それは私たちの信じている人々を語ることでしか。私たちの本当の宗教とは、私たちの思いや行いを実さいに支配するおきてであるということに誰でもみな賛成することができると思っています。私たちは、自分が口に言っている信念とはひじょうにかけ離れた行いをすることがあります。それでありますから、大きな問題になるのは、私たち自身

の宗教を、イエス・キリストの福音にあらわれている完全な宗教と一から十まで正しく一致させることであります。私たちがキリスト教の標準を正しくふみ行つてこそ始めて本当に主イエス・キリストの信者であるということが出来ます。私たちの言葉や行いはイエス・キリストの福音を変えることはできません。しかし、私たちの言葉や行いは私たち自身の宗教をひじょうに変えることが出来ます。

自分の宗教上の行動を正しくないやり方でやっている人がひじょうに多いのはなげかわしいことです。私たちは福音の標準がわかりませんが、これを自分の生き方とくらべているうちにいちじるしく変つているところに気がつきます。すると、私たちはまちがった処置をとります。私たちは自分の生活上のくせを福音の教えに一致するように変えないで、かえつて福音の方を自分の誤つたくせに一致するように変えようとします。私たちはそうすることによって、自分の宗教をちよつと見ると本当の福音に見えるものにする事ができますが、ほかの人々はその「自分の都合にあわせて」宗教によって、私たちや私たちのもっているとくべつな宗教の価値を判断するのではありません。私たちの多くが、自分の宗教でほかの人々の心に強い印象を与えていないの

私たちが福音の計画をほかの人々に説き聞かせるときけんそんなへりくだった態度をとることはとりわけひじょうに大切なことでもあります。これはなにも、私たちが弱い者もしくはためらっている者と思われなければならないことを示唆しているものではありません。へりくだりとは決して弱いということではななく、またけんそんないつも勝利を収める美徳であります。自分の方がえらいのだという態度は、いつも自分自身と自分の言葉に耳を傾けようとする人ととの間を遮断してしまいます。福音を受け入れるのに前にて必らず人用なのはすなおな心持ちであります。私たちの予備的行動やおその人の信念に対する寛容さが道を求める人々の心をととのえるのに大いにあずかって力があります。ほかの人々のデリケートな心持ちに当然の考慮をはらうならば、宣教師はいつも好意を以て自分の言葉を聞いてもらえます。宗教は私たちがいつも深い感情を抱いている問題でありますから、人はいかなる時でも感情を軽々しくとりあつかうことはできません。私たちの大きな力は、イエス・キリストの本当の福音が感情に訴えるのはもちろん知性にも訴えるところがあるということから生じています。私たちが烈しい感情的の議論をするよりも、むしろ理

「一つ旨く行くとあとはみんな旨く行く」とは昔からの原理でありますが、これは人々々が私たちの宗教上のいろいろな営みについて考えることに全く旨くあてはまります。もしも私たちが常識のある愉快な人間であるなら、自然にほかの人々をひきつけるところがあります。もしも「自然」が私たちの立場を立派なものとするよい性格を示すとするなら、私たちは、友だちや始めての人たちに「自然な態度をとるべきであります。『誰にもみならうな、ただし自分の最もよいところを出せ』とは、どの末日聖徒にとってもよい導きとなることのできる一つの標語であります。

祈りによって一日を始めるのに最もよい考えは、自分の言ったり行ったりするすべての事に於て、教会と自分の信じている神とに誓れを与えるように努力をしますという考えです。もしもこのような誓いがあなた自身を支配するなら、あらゆる経験を目的と意義のあるものにする事ができます。あらゆる主要な行いがいわゆる「重要でない」行いの積み重ねの頂点であることを忘れないなら、私たちは日常の仕事の中で前に述べたような高い目的のためにたえず調節を行う力を必要とします。

わが教会は、すべての若い会員たちに対し、全世界の人々にイエス・キリストの福音を宣べ伝えるという「神が負わせたもう責任」をとるように申します。この呼びかけは、将来人生の行路をきめてしまういろいろな経験をこの時期に於て充分調節のできるので、若い人々にとって最も大切であります。また元気で活動範囲の広い若い人々は、将来あまねく福音をひろめるために才能をそなえなくてはならないという理由もあるのであります。

私たちが安全のために必要とするのは、肩を叩いて「失礼ですが、あなたの宗教があらわれています」と言って毎日注意を促すもののはたらくです。これは私たちが「正しい道」をいともふみはずさないようにするためにはかり知れない大きな助けを与え、また私たちが世の中の人々にキリストのまことの宗教をそのままあらわして、別の宗教や自分自身の宗教をあらわしてはいないということを確認する充分な理由を与えるのであります。

よう。

私たちの「天にまします父なる神」は、私たちに与えたいとお思いになったあらゆる教えを、多くのちがった有効な方法でお与えになることができたでしょう。この神が、その教えの裏づけとして意義をあらしめるために独り子イエス・キリストをこの世に遣わして

人間の中に住まわせなされたのはひじょうに意味の深いことであります。この主を前にして、人間たちはほかの方法では見ることで、きなかった「平和の福音」の意味とその実践とを見たのであります。もしも主イエスが地球上で親しく導きとめぐみを施したまわなかったら、今日まで当時の人々が経験したと同じでいどに福音の力がのこっていたかどうか疑わしいのであります。それでありましたから神の国をたたえる基になるのは個人のあかしと生きた模範のほかにはありません。

それでありましたから、キリストが生活なされたと同じように人々の間で生活すること、が私たちの責任であります。私たちに与えられた気高い仕事は、善のためにあるでいど贖い主と同じ影響を及ぼし、贖い主がなさったと同じように霊の火を人々の心に起すように福音を理解して実践することです。これは「パートタイム」の末日聖徒のはたらきに役立つわけではありません。霊の力は積みあげによって得られるものであり、毎日毎日積みかさねる自然の経過によって大きくなるのであります。それは電気のように勝手なときに「切ったり」「入れたたり」することはできません。

「汝らわが言うところを行わば、主なるわれこれに対して責任あり。されど、汝らわが言

うところを行わずば汝ら何ら約束を受けず」(教義と聖約八十二〇十参照)これは私たちは神との誓約を守るときに、神はいつても自分の言に対して責任をとるといふ誓いのことばであります。私たちはこのように「変らな人々」をもっているものでありますから、世の人々の前に模範となる使命に成功しないわけにはゆかないのであります。

「教授の手助け」 一、レッスンの目的

生徒たちが、自身の宗教を世のならいに一致せようとするかわりに、自身の生活をまことの宗教に従わせるようになるため、まことの宗教とは何であるかをきめる助けを与えること。

二、教授の方法(提案)

(イ)聖句を読んで、主が私たちを「選ばれた種族」とお呼びになるわけを考えよ。私たちは何のために選ばれるか。

(ロ)宗教とは何か、定義をせよ。神学とはどのようににちがっているか。

(ハ)末日聖徒は、ほかの教会の会員たち以上に「困難な状態」に居るのは何故か。

(ニ)ワシントン州スタットラーホテルに於けるこの著者の経験を読め。もしもこの著者がいつも実践しているまことの宗教をもっていないかったなら、どんなにひどい

害を受けることになったであろうか。

三、生徒たちの参加に対する提案
(イ)私たちはどのようにして人々のほんとうの性格をきめるか。

(ロ)自分の都合にあわせた宗教とは何か。

なぜ世の中の人々は宗教を尊ばないか。

(ハ)私たちが自分の宗教を確立する場合に、誰の考えをたずねてみるべきか。善悪に関する人間の考えにもとづいた宗教はどんな弱点をもっているか。

四、生徒たちの応用に対する提案

(イ)私たちはどこに居ようと誰に見られていようと、どうしたら正しいことをするようになるか。

(ロ)福音を理解しない世の中の人々に対するすべての末日聖徒の責任は何か。

(ハ)もしも或る人がまじめに福音を研究したが、福音を実践する点に於て私の模範が貧弱であったからという理由でついに福音をすててしまったら、この損失に対して私は責任があるだろうか。この問題について論ぜよ。

(ニ)私たちのもっている善悪の標準が世の中の人々のそれとちがっていることについて私たちは弁解しなくてはならぬか。理由を附して答えよ。

支部だより

名古屋支部

○メキシカンパーティー

(トモダチ・ツレテキテ・クダサイ)

四月七日宣教師主催によりメキシカンパーティーが支部ホールで開かれました。メキシコのムードをよくとらえた装飾にはMIAも舌をまいた感であった。

名古屋支部でははじめてのことだけに、私たちは注目していたが、会は土田姉妹の司会で始められかわいなお嬢さんやおばさんも交えてゲームによる楽しいひと時を過した。

今日集った人たちの中何人の方が天にまします父なる神様を知るチャンスをつかむであろうか、このことを考えていると私たち会員ものんきにしていられない。次の計画はどうなっていますか？ 五月二十五日？ そうですか、では私もお手伝いしましょう。

!!みなさんオトモダチ・ツレテキテ・クダサイ!! (古芝記)

○今月のパプテスマ次の通り

尾関育代、磯村昌孝、坪田忠義、小塚明彦
長谷川浩祥、鈴木敏代、鈴木由子、中村睦子

○補助組織役員の変更

MIA書記 解任 加藤華代子

任命 田代久美子

日曜学校書記 解任 稲垣 添子

任命 尾関 育代

三ノ宮支部

このところ、当支部においても求道者の数が急激にふえ、讃美歌集は充分に行きわたらないし、スリッパや椅子まで足りなくなる有様で、一同うれしい悲鳴をあげています。でも、出席者の多い集会では、会堂が小さいためざわついて、どうもイケマセン。一日も早く、当支部にも新しい建物が建設されることを祈りながら、全員頑張っています。

先日の『タレントのゆうべ』には、兄弟、姉妹、そしてお友達の方々から多くのタレ

ントが披露され、全員楽しいひとときを共に過しましたが、中でもちょっと変っていたのが楊紀兄弟、佐野兄弟らの『空手演舞』で、黒帯姿でさっそうと登場、いきなり積み重ねたカワラを気合もろともたたきわり、全員の度胆を抜き、注意を集めたところで、空手の型の披露。青い目の宣教師達もくいい入るような目で見ていましたが、後でマネして手を痛め、顔をしかめていたとか……………。

四月二十八日の『いなかのパーティー』にも多くの人が出席し、全員庭に出て、ホットドッグをバクつき、野菜のスープをすすった後ゲームなどをして楽しく過しました。

五月二日記

三ノ宮支部・文芸委員

東京南支部

桜の花が静かにヒラヒラと洗足池に散る四月中旬、私たちの南支部では、天候に恵まれて盛大な支部大会を開催いたしました。

支部長をはじめ兄弟姉妹の努力とお父様の恵みにより、有意義なまた楽しい一週間でありましたことを、皆様に御報告できますことを南支部の会員一同喜び感謝しているしだいです。次に各組毎に、簡単に内容をお知らせしたいと思います。

扶助協会

四月十七日長谷川雪子姉妹司会のもとに、二十数人あまりの姉妹たちと一諸に地方部鈴木姉妹や飯泉きよ子姉妹の扶助協会についての話しがあったあと、シンキング・マザーズのコーラスを聞いたり、また中川紀世子姉妹の任務についての話やグリッド姉妹のアメリカの扶助協会についての話など本場に多くの有意義な話を聞いて閉会に致しました。

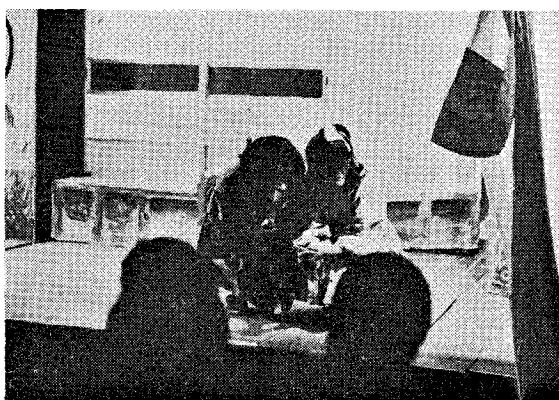
M I A

M I Aでは伝道部のM I A会長でいらっしやる佐藤裏二兄弟御夫妻をお迎えして、中川紀世子姉妹の司会により、四月十九日に開きました。プログラムは佐藤兄弟より私たち若い人を励ますメッセージを頂いた後、前号に紹介した南支部御自慢のハワイアンバンド坂井圭兄弟他数名による名演奏で始まりました。次に中村善彦兄弟の話しの後、演劇「ある喜びの夜」を上演、長谷川、吉田両姉妹の名演技で皆感動の涙を流したところで閉会致しました。特にこの演劇のためにいままでない立派な舞台装置を作って下さった浅野時夫兄弟その他にかん謝いたします。出席者は約八十名でした。



神権会

復活祭でありまた支部大会の最終日である二十二日は春絶好なる天気恵まれ、私たちが神権者は、地方部長の今井一男兄弟、評議員の佐藤龍猪兄弟、第一長老定員会第一副会長の堀田秀司兄弟をお迎えし相共に集い神権会を開きました。支部長の中東幹夫兄弟司会のもとにプログラムに従って津端兄弟が支部大会



のテーマ、テモテ前書第四章七、十二、十四、十五節を朗読した後、堀田、佐藤、今井、三兄弟より有意義な話をいただき神権者としての祝福を感じると共に責任を感じ、御国発展の為、またシオン建設の為にこれから一層の努力を払うよう自覚致しました。

一般大会

一般大会は地方部長の今井一男兄弟管理の

もとに、日曜学校会長の川島貢兄弟による司会で十時半より開かれました。今村悦子姉妹が聖句マタイ伝二十八章一七節を拝読した後、坂井圭兄弟、「復活」、長谷川和子姉妹「年若くして」と話していただき、次に支部のコーラスグループにより讃美歌第三十九、「家庭の中に」をすばらしい声で合唱していただきました。コーラスの後、小福田史男兄弟、今井一男兄弟のお話を聞き、大勢のお友達と共に新たな気持でより深い信仰をもつ事ができました。

聖餐会

前沢敬悦兄弟司会のもとに行われた聖餐会は、聖餐の祝福を、津端了治兄弟、川島貢兄弟により行われました。会員一人一人が支部大会、復活祭を祝うと共に、バプテスマをうけた時の聖約をいつそう心の底に刻む事が出来たと思います。その後、久本綾子姉妹、中東幹夫兄弟、佐藤龍猪兄弟と三人の方のお話を聞き、聖餐会を、ひきしまつた気持の中に閉じる事が出来ました事を深く感謝いたします。

聖餐会の後、扶助協会の姉妹たちによってつくられたジュース、サンドイッチをみんなで食べ、この大会の終りを一人一人の祝福に

満たされた笑顔の中に閉じる事が出来ました事を、神様の祝福に満たされた一週間でありました事を感謝いたします。

以上が各組織の簡単なほうこくです。

阿 倍 野 支 部

MIA報告

阿倍野MIAタレントの夕べは四月七日(土)六時三十分より行なわれました。可愛いらしい、二人の司会によってすばらしい夕べを持つ事が出来ました。非専任宣教師の高橋姉妹と酒井姉妹による人形劇は、宣教師の家庭訪問を手製の人形をあやつりながら、社会諷しの内に伝道するすばらしさを教えていただきました。そしてすばらしい手さばきとセリフは出席している人達全員を笑いのうず引き込んでいきました。又宣教師八人による大(う)合唱は全くすばらしく耳がよく聞える様になりました。

その他兄弟姉妹によるオルガン演奏やギター独奏又金姉妹による朝鮮民謡は私達に全ての歌は国境をこえる事を教えてくれました。そして全員すばらしい気持でタレントの夕べを終り、次のタレントの時はずっと多くの人達の能力が発表出来る事を思いながら閉会致

しました。

西ノ宮支部

三月より役員改正により、各自に与えられました最適の責任に一層の努力と支部の発展に心身共に尽す事を神様に誓いました。よりましてそれぞれを次に紹介致します。

「神権会役員」

会長	安芸 宏 兄弟
音楽指揮者	高城 卓哉 兄弟
書記	鳥橋 義和 兄弟
教師	池 正爾
「子供日曜学校」	
会長	福屋 航二 兄弟
教師	北川 兼子 姉妹
「大人日曜学校」	
会長	松村 高子
第二副会長	福屋 航二 兄弟
音楽指揮者	北川 正吉
書記	堀田 智春
教師	安芸 美江子 姉妹
教師	道場 鈴子
教師	伊藤 好子 姉妹
会長「男」	高城 卓哉 兄弟

〃 「女」

丸山 苑生 姉妹

副会長「男」

沼野 次郎 兄弟

〃 「女」

飯尾 文 姉妹

音楽指導者

丸山 苑生 姉妹

ダンス指導者

福屋 航二 兄弟

絵画、会話指導者

飯尾 文 姉妹

「図書委員」

永井 君子 姉妹

「歓迎委員会」

安芸美江子 〃

会長

安井福司郎 兄弟

委員

坪内 兄弟

〃

片山 京子 姉妹

「生徒の道投稿者」片山京子 姉妹

◎歓迎委員会では支部内の親睦と運営を計る各種の会合等の計画を特別につくる事を目的としています。風紀上にも教会がいつも神聖さから離れないよう心掛けている事も追加しておきましょう。皆さんの支部で、歓迎委員会にふさわしい良い案がありますならばお知らせ下さいませんか。

現在では、誕生日会、といつて二カ月単位の生れ月にあたる人を招き、ゲームや歌等を通して友愛を深めて教会員の加入にと励んでいます。まだ、食社会、ピクニック、ダンスパーティー、等、少額の会費を徴収し乍ら

支部予算と、日頃話す事の出来なかった友を知る機会を得るといふ一石二鳥の収穫を計画しています。

「バプテスマ」

三月四日 藤田 純二

三月十一日 大内 和子

四月十五日 戸井 修子

「宣教師」

転任 金沢支部へ ファット長老
後任 カルフォルニアより エンサイン長老

◎三月二十一日空地手入れ作業

春分の日には惜しくも春雨に見舞われましたが、元気にうでまくりした兄弟姉妹の協力により雑草の宅地が一日にして立派なグラウンドになりました。スポーツもこれからは機会ある毎に行い、健康なる相互発達協会に進展してゆこうと考えております。

片山姉妹記

◎三月十七日西ノ宮支部では、バイブル映画・キングオブキングズを鑑に行きました。

キリストについて新たに胸深く証をもてた悦びの感動を、映画を鑑られた人なら必ずもったに違いありません。掘田智春兄弟はその印象と感想を書き記して下さいましたので皆様にも読んで戴きたく思います。

キング・オブ・キングズと言う映画の題名を聞いただけでも私達末日聖徒イエス・キリスト教会の人々や又教会に属している人々でも、或いは教会に対して少しなりとも関心を持って居る人であるならば、たとえその教会教義が異っていてもその「キングオブキングズ」と云う意味が理解出来るだろうし、又その各々の考え方や見方が異っていてもその各人はイエス・キリスト御自身に対して清い心でイエスを見つめ、考え、或いは崇敬の念を以て仰ぎ御名を信じ奉っていると思う、勿論全部の人がその様であるとは限らないが、しかし教会に対して関心を持っている人であるならばそうであると思ひ、又信じている。実に長い三時間余りの上映は唯イエス・キリストが御生誕になる以前、即ちエルサレム全土がローマに依って亡される場面から始まってそれからキリストが御生誕されてから十字架に至る迄の生涯を描いたストーリーであるところの歴史的映画であるけれども、私はこの堂々たる三時間の映画が私自身にとって生活の良き指針となり、又私の心を従順にさせてくれた、むしろ映画は見る各人によって見方の相違はあるが、私自身はその様に感じた。キリストに扮していた俳優のジェフリー・ハン

ターという人は確かにキリストの御性格を適確に捕らえて居り、より以上に演技も素晴らしかった。

私は教会からのこの素晴らしい鑑賞会の催しの後、非常に心が落着き、何か胸の奥にキリストが今も尚生きている様に感じ、又私とキリストとの関係が本当に身近なものになった様に感じられた。そしてキリストの人類に對する愛を考える時、胸が一杯になり何も云う事が出来なかった。私に心のゆとりが出来たのはこの動機からであった。又キリストがガリラヤから他の地方に伝道されたり色々な試練に会われた。実にキリストの生涯程全世界の隅々の人々に迄も知られている事はないであろう。その生涯は偉大で尚且つ私達の心の奥に生きて影響を及ぼしているものではない程である。逆に意味を考えてみるとキリストの試練からみると私達の試練は何と小さく楽なものだろうか。それを考える時私達はもつとこの真の教えを伝える事に、そして教会の仕事に又私達自身の私生活に常に精進しなければならぬと痛切に感じた。むろん現在のように色々な事が科学に依って明らかにされ、文化が進んでくると人間は知識を得て経験して進歩する反面いわゆる神の實在性と言

うものを認めなくなり人の心はかたくなになつて高慢になる。それだけに今の私達の使命は大きくて又むづかしい、しかし私達が今、与えられた一つの大きな責任を全うする事によつて全人類の贖い主であるイエス・キリストに對して一番よい御恩返しではないかと思う、そして私達はイエス・キリストを最高の教師として御在天の父なる神に献身的である様に努めたいと思う、私はここにすべての人達に神の栄光がある様に心から祈つて終ります

◎四月二十日、グループ家庭集会、

鳥橋義和兄弟は、深き信仰のもとにこの計画をより意義たらしめる為に、集まる友達が楽しく過せる御自分の家を、提出されました長老のモルモン経の内容のスラライドはとてよい宣教であつたと信じます。

◎四月二十一日、親睦会。

本当は、ウエスタンパーティの筈が急に降り出した夕立が折角の長老達のたのしい計画の庭に造られた数々の準備を全く駄目にしました。行つた為、行つた事が出来ませんでした。云々かりした一同は即席のダンスと、日頃は云々ない大きな、嘘つきコンテスト、等に興じて親睦を計る事に致しました。ウエスタンパーティは改めて行つて積ります。

◎四月二十二日、復活祭。

私達の復活祭は小高い山上でした。環境に恵まれた西ノ宮支部はより近く神に接する機

会にある事を感謝しています。神聖さは教会堂よりも清い空気と美しい自然の木々と見下せる下界の上に尚その感強まる思いでした。会員達一同は二兄弟(福屋兄弟)(沼野兄弟)のキリスト復活にあたる心強い信仰のお話に深く胸に新たな信仰の希望をもつて帰る事が出来ました。

◎四月二十六日

さて何の日だと思われませんか? 待望に待望を重ねた西ノ宮支部きつてのうれしいニュース、かつて一度もなかった私達支部内での美しいカップルが晴れて御結婚に踏み切りました。新郎は皆様もうよく御存知の田口広道兄弟、少年時代より早くもこの真理の福音を知られ、数重なる豊かな経験の中に神を受け入れて信仰を育てられた兄弟の御人格には私達未熟なる会員にとつては一挙一動にも信頼して心から尊敬をよせられるお方です。そして兄弟に伴なわれた美しくも優しい日曜学校の堅実なる道場鈴子先生は、磨かれたお人柄で、きつとすてきな御家庭を築かれて、将来もよき御子達の先生とそしてよき妻として永遠にお伴せなる人生を歩かれると心から信頼し、又心よりそう祈らせていたでいて、皆さんと御一緒に祝福申し上げましょう。そして次に第二のカップルが早く生れて増々支部が発展します様にと願っています。

東中央地方部第三地区大会報告

仙台、新潟、山形の三支部の地区大会が、三月十、十一日の両日にわたって山形支部で行なわれました。

三月といつても、みちのくの山々には白雪が積っていてかけ足で下りてくる風は冷く、はだを刺すように寒い季節である。山形支部で大会が行なわれるのは何年振りのことであるので、会員、求道者の皆さんが心を一つにして、価値のある大会になりますようひたすらお祈りして、その準備にいそしんだのだ。

M・I・A大会は、三月十日午後六時から労働会館ホールで開かれました。遠く仙台、新潟の各支部から集った会員、求道者のみんながひさ方振りで会うなつかしさから胸をはずませそこそこでかいた握手が交されなごやかな雰囲気、ホールいつばいにみなぎったとき厳やかなメロデーが、会場に流れ開会時刻が知らされた。

吉田繁子姉妹（山形）の司会によって、井上孝市兄弟（山形）の敬虔なお祈りがささげられた後、「三つの主題による春の音楽祭」が行なわれた。最初に、新潟支部の「歌々踊」があり、次に仙台支部の「歌めぐり」最後に支部のオペレッタ「影をなくした男」が上演され、満場の喝采を受け和気あいあいの中に終ることができた。

翌十一日アンドラス伝道部長を迎え、午前九時から山形支部のホールにおいて今井一男兄弟司会によって神権会、中沢ヤイ姉妹（山形）司会により扶助協会がそれぞれ行なわれた。続いて午前十時三十分から大会テーマ「教義と聖約十八章十三節〜十六節」のもとに、紙谷富保兄弟（仙台）司会で一般大会が行なわれ、上野武志兄弟（仙台）沼沢清野姉妹（山形）の霊的なお話の後に山形支部のコーラスがあり続いて松川護兄弟（新潟）のお話と今井一男兄弟とアンドラス伝道部長の聖

霊に満ちた有意義なお話がなされ、会堂にぎつしり集った約七十余名の会員、求道者に深い感銘を与え大会テーマの精神をよく理解され、御父の国に隣人を導く二つを心に誓った。なごやかな昼食の後、午後二時三十分から鈴木吾郎兄弟（山形）の司会で証会が行なわれ途中仙台、新潟の両支部のコーラスがあり各支部の会員、求道者から強い証が次々と述べられ聞く人々の心を燃す深い感動を与え、持っている人はそれを倍にし、持っている人が消え、会堂に在るすべての者の心は、主のもとに一つとなり、大会の意義が大いに高められた。誠に時間の足らざるを惜まれながら終始神の導きを得て午後三時三十分無事終了散会することができた。

なお本大会において次のように日本人の支部長が聖任されました。今後の発展を期待してやみません。

仙台支部長 紙谷富保兄弟
新潟支部長 松川護兄弟



上
伝道部長の力強い
お話

中
なごやかな食事

下
山形支部のオペレ
ッタ





仙台支部 阿部・塩 信仰両家のお祝

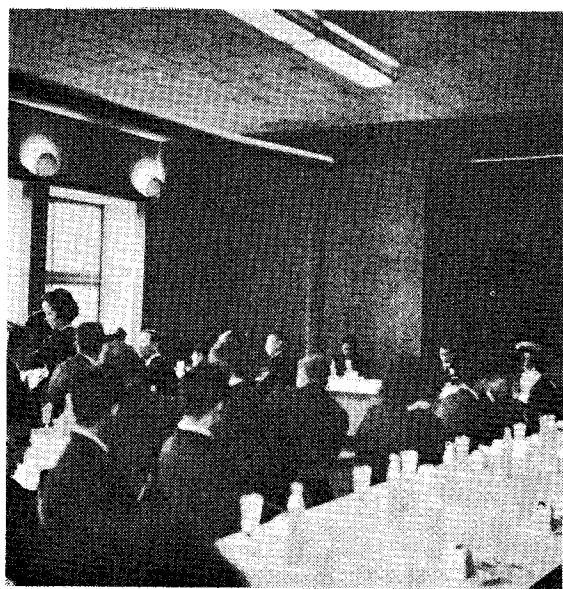
＜司式者 渡部正雄＞

桜花爛漫と咲き薫る四月十四日、春高樓の歌にも名高き青葉城址を遙か彼方に望みつつ午後二時より仙台支部で、いとも厳肅に、阿部・塩信仰両家の結婚の儀式が挙行されました。

新郎新婦共に教職に身を奉じて居られる関係上会堂には校長先生始め諸先生方が多数参列され、教会と学校合同でこの御慶事を祝い、御両人の御人格と御両家の信仰を通じ、学校社会の皆様と教会活動の強い印象をお与えたことは、御心による素晴らしき伝道行事でもあったことを心からお喜び申し上げます。

新郎、順夫兄弟は現在白石高等学校の国漢の教師をして居られますが、仙台一高一年生の時から姉さんに導かれて教会に入り二年生ですでにMIAの会長をして活躍されましたが、阿部家では二番目の姉、千枝子姉妹が十二年前の一九五〇年九月六日仙台のヨルダン河、広瀬川でバプテスマを受けてまづ会員となり、続いて三番目の姉、敦子

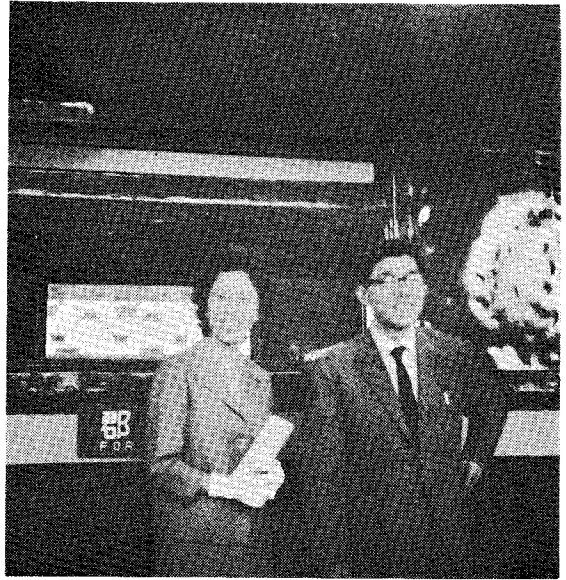
姉妹、順夫兄弟、一番上の姉さん、さらに六十才を過ぎられたお母さんが受けられ、長年校長先生を勤められ、今は引退されて居られる七十過ぎのお父さんも御家族と共に福音にいそしんで居られるのである。千枝子姉妹は会員になって間もなく伝道に出られ、大阪の阿部野、金沢、高崎各支部などで働かれ、現在東京中央支部で多くの若い会員たちのよき指導者として活躍して居られますが、敦子姉妹もパートタイマーとして一年半、仙台で働きました。阿部



兄弟の家は教会まで一時間以上もかかる不便な郊外にあるのですが、幾分、腰も曲られたお母さんが、安息日にはいつも早朝から人ごみに揺られながらも熱心に教会に通われるお姿は誠に若い会員を振り立たせずには居られません。

阿部兄弟はこの喜びの日に少し先だって白石高校に転任し、新婦と任地を共にする二重の喜びにめぐまれたわけですが、その為前任の志津川高校の校長先生、教頭先生も揃ってお見えになって居られたが校長先生は挨拶の時に、昨年秋、十八号台風で志津川が津波に襲われ被害を受けた時、阿部兄弟が如何に犠牲的奉仕をされたか、全校職員生徒の模範として長く学校の歴史に伝えられると絶讃し、これも阿部先生の信仰生活のしからしむるところと述べられ教会も誠に光栄に、会員一同喜びを共にしたわけです。

新婦順子姉妹は有名なミッシェンスクール宮城女学院を優秀な成績で卒業され、その後引続いて母校で事務を取って居られるので、やはり諸先生がお見えになられて居られたが、主任の先生はその挨拶で、こう言う時には花嫁さんは誰でも才媛になるものですが、塩さんばかりはほんとうに、一番、二番で通された才媛で、すべての人から敬愛されるその素晴らしい御人格は、やはりその強い御信仰生活によるものと、又々教会の光栄に帰し、主の信仰により結ばれたこの御両人の上に、如何に神の祝福と世の人々の期待がかけられているかに驚嘆した次第であります。



塩家ではまづお母さんの千鶴子姉妹が一九五一年のクリスマスよき日にパプテスマを受け、入会されてから、その翌春、順子姉妹はまだ高校一年生の時に入会、引続いて三人の弟さんお父さん、更に八十二才のおじいさんも長年信じられた天理教を脱して、広瀬川の清流に身を清め、めでたく会員となられた喜びの信仰の御一家であります。お父さんも弟さんの英雄兄弟も共に大神権者として働かれ、お父さんの隆義兄弟は第一副支部長として支部の為活躍し

て居られます。

この信仰の御両家が結ばれたといふことは深い神の御心によるもので、国家がまた社会が、教会が、また全人類が御両人はもちろん、信仰の御両家に期待する処誠に大いなるものがあるのであります。

私は恵まれて今度で八度目の司式をする光栄に浴したわけでありますが、いつも参列する多くの社会の人々に教会の結婚式は実に素晴らしいと感嘆され、主が信仰により結び給う儀式の如何に尊いものであるか、また聖霊に満たされた真の教会で挙行される聖なる儀式の如何に世の多くの人々に靈感と感動を与えるかを眼のあたりに見せられ、この慶事が誠に素晴らしくも厳肅な偉大なる伝道行事でもあることを痛感させられるものであります。

現任北支部長の福田兄弟夫妻、中央支部副支部長萩本兄弟夫妻、日曜学校伝道及び地方部指導者上野兄弟夫妻の御慶事にも司式を務めさせていただきましたが、萩本兄弟夫妻も教鞭をとって居られたので校長先生始め諸先生方が列席され、特に夫君、萩本兄弟は有名な羽仁もと子さんの自由学園であったので、学園の諸先生方が讃美歌のコーラスなどもされましたが、すでに長年クリスチャンであられる諸先生方が声を揃えて、この教会の聖なる儀式を絶讃して居られたのは、真の教会のよき証として誠に嬉しいことであります。

上野兄弟は日本一と言われる東北大学工学部金属を出られたので有名な工学部長永井博士も出席されて優秀な新郎の学業もその信仰が土台となっているからであろうと私たち会員にとって嬉しい証をして下さり、世の人々に主の光をもたらし新郎新婦の上に、幸多かれと共に祈った次第でした。

この喜びの信仰に結ばれた兄弟姉妹たちがそれぞれモルモンの家庭建設に向ってスタートされたわけでありますが、もともと主によって結ばれた家庭なれば主のみ恵みはいやましに加わって、競うて素晴らしき玉のようなモルモン二世をもうけられ、模範的なモルモンスイートホームのいしづえを着々と固めて居られる有様は誠にはたの見る目もほほえましく又心強い次第であります。

阿部川も塩味をつけなければ本物の味が出ないようです。が従順の順の字で結ばれ今度新しくスタートされた順夫順子兄弟姉妹のモルモンスイートホームも、先輩諸兄弟姉妹に負けないようにしつかり手を取り合って永遠の生命の幸福道を子孫繁栄の目標に向ってばく進されんことを、心から祈る次第であります。

文 芸

六 月



頼りなき寂しさあれば身に沁みて我に愛する天父あり
と思う

山里の春は美し穢れなきみ父のみわざここに表われて

柳田 トシコ (名古屋)

春愁や 机上レポート そのままに

わが未来考えている落花かな

北野千穂子 (岡町)

文芸の原稿を募集しております

投稿先 東京都港区青山北町六一三四

末日聖徒イエス・キリスト教会

「聖徒の道」編集部

刈り入れんと欲する者は

濁 沼 誠 二

(小樽 支 部)

猫の額のような畑だったが、七月十三日、私たちは鋤をふるっていた。時々、手を休めると、スキーのメッカとして有名な天狗山か

らの微風が、気持ちよく頬を撫でた。ある人の宅地が空いているのを、私の母が借りてくれたのである。私たちは、ここに支部予算の一



助にと大根を植えるのだった。

ミルズ長老、ザーク長老、ウオルズイ長老バンデイ長老が、彼らの貴重な休日、土を取り組む為に費してくれた。宅地として整地していた所なので、まさに土との格闘であった。「ガギッ」という音がどの人の鋤からも聞えてくる。そのたびに大きな石が掘り起される。あまりにも大きい石は、総力を結集して暗い地中から、明るい地上へと引き上げる。みんなが、じっとりと汗をかいた頃、宣教師たちの掌には、大きなマメが出来ていた。おおむね、労働中の私たちは陽気だった。イミテーション、ベラフオンテのミルズ長老の美声が、労働軽をくした。ウオルズイ長老の胸間声が、ユーモラスな和音となった。アメリカから来たばかりの大男バンデイ長老が、鋤を振うと、まるで悪童が棒切れを振り廻してチャンバラをしているようである。

「この豆でチリビーンズを作って食べましょうか。」

「大根をとる前に、豆が出来てしまうなんてね。」

こんなジョークも出た。みんな楽しいのである、何故か？と聞かれたら、みんなうまく答えられないだろうが、とにかくうれしいのである。ウオルズイ長老の豆が破れて血が滲むようになった頃、私たちは、労働を終えた。このような労働が三回程繰返された時、小さな大根の種子は、大地の暖かいふところにぬくぬくと抱かれていた。

時を同じくして、私の父も主のふところに抱かれつつあった。折りにふれて目にする宣教師たちの態度は、私の父の好感を呼んだのであろう。八月上旬頃より、父はミルズ長老より本格的に家庭集会を受け始めた。私が、多忙にかこつけて時々しか見ない畑も、母の手入れによってきちんと整っていた。老年になって福音に耳を傾けている父は、ジョセス・スミスとか、ペテロ、ヤコブ、ヨハネなどの仮名文字に弱いらしく相当手こずっていたが、みたまの導きが絶えずあった。やがて大根の若芽が、二つの可愛らしい葉を出し、北国の大自然に思いつ切り伸びようとしていた。父は、福音の一課一課を丹念に覚えていた。

ある日、母が「ザクツとおえずきたから（成長し過ぎたから）、すぐらないと駄目だね」と言った。こうして、植えられた大根の多くは

若いうちに取り除けられ、二十センチ位の間隔に一本ずつ残された。八月二十七日（日曜日）、父は、自分の長男であり、私の兄である一利兄弟によりバプテスマを施され、私が確認と聖霊の賜を受ける按手礼を行った鬼の目にも涙が溢れた。泣くことの大嫌いな私は、みんなの前で堂々と泣いた。祝福の言葉は途切れた。それをすら言うには、余りにも父の愛は大きく、天父なる神様の慈愛は深過ぎた。私の兄も、眼を真赤にして泣いていた。何も言わなくても二人の心は通い合っていた。小樽支部の兄弟姉妹も心から祝福して下さった。

次の日から、私は最後の学年に果たさねばならない教育実習のために市内の中学校へ配属された。純粋な子供たちの眼が、私の教育愛を盛りたてた。そして、その愛は、確かに主イエスより給わったものであった。

「大根に虫がつかないように、葉をまかきや」と、ある日母が言った。雨上りの朝早く、私は畑に行った。怠けているうちになる程、青虫が沢山ついていた。葉の大部分は食い破られていた。私は、その日、もう一度、生徒たちの顔を熟視した。単なる職業の対象ではなくて、霊の子供なんですよという聖霊の囁きが聞えて来るようだった。国語のジャンバルジャンの单元が、今日は、特に熱が入

ったようだった。父から、その日、たよりがあった。父は船員なので、今函館に停泊しているのである。知恵の言葉を守るのに骨が折れると書いてあった。

「葉を、本当に早くまかなさやだめだね」私は、母にそう言った。私はその夜、長いお祈りをした。

十一月二日、ついに大根のとり入れの日が来た。とっても楽しかった。ザーグ長老と、ルイ長老とジョージ長老は、歓声をあげて抜き始めた。写真のようなお化け大根が、グイグイと引っこめかれた。ザーグ長老が、恐るな聖徒よを口ずさんだ。汗が先祖のモルモルを思い起してくれた。彼らは、これの何百倍もの重労働に堪えたのである。そう思った時は、暫らく手を休め、柔かい土をつかんで思いつき香りを吸い込んだ。「エライジャの香りがする」と、ふとそう思った。

見よ、畑は早白くして刈り入れを待てり。故に刈り入れんと欲する者は、何れも勢力をつくして鎌を入れ、日の尽きざる中に刈り取りて神の王国に於ける永遠の救いをその身と霊とのために貯うべし。

（教義と誓約第十一章三―四節）
今、ミルズ長老は甲府支部に、ウオルズイ長老は阿部野支部に、バンデイ長老は広島支部に居る。収獲におおわらわなことと思う。

日本支部だより

■ 中 村 武 史 ■

日本の皆様、本日は始めてここソルトレーク市日本人支部から遠く離れた日本の兄弟姉妹にお便りいたします。多分、日本の多くの会員および指導者の方々の中にはソルトレーク市にもやはり私たち日本人が日本人による支部を持ち毎日曜日にそのたの会に集り、皆様方と同じにできれば幸いと思います。私たちソルトレーク市の日本人も、この「聖徒の道」を楽しく拝見し、また日本の兄弟姉妹の御活躍をうれしく読むことができます。

このように「聖徒の道」を通じてお互い兄弟姉妹が理解し合い愛を分かち合うことができうれしいと思います。さて、まずソルトレーク市の気候から御紹介いたしましょう。本年の冬は住民の声も「寒い寒い」と言うほどで非常に寒い冬を過しているわけです。スキーヤーにとっては天国とも言うべき冬で例年にくらべて雪も多いために近くの有名なブライトン・スキー場は大へんなにぎわいといわれます。過去二、三年毎年雪が少なくなるといのが雪国の人々の心配でした。また毎冬の雪の量が直接作物の生産量に影響するため人々の雪に対する関心は私たちの想像以上に大きいと思われます。ソルトレーク市のようすについては皆様方多分写真ですでに御承

知と思いますが、簡単にまとめれば、札幌の美しさとか古屋市の区画整理を持った全米で一番美しい町と云うことができるかも知れません。日本人支部は神殿から五分ほど離れた小さな日本人町の一角に位置して居ります。

皮肉なことには、この神殿に近い日本人支部の一丁も離れない所になんり勢力のある仏教会があることです。その他カソリック・プロテスタント、クエーカー等と色々多くの他教会もあちらこちらにあり、モルモンは大体五十パーセント以下と云われます。近年ソルトレーク市の発展もめざましいにつけ、大工場の郊外設置等が他からの移住民を迎えたりして次第に教会以外の人々の人口を増しているのが、全人口に対するモルモンの比率を少くしているようです。真面目な多くのモルモンの願いは、一人でも多くの福音を聞く者ができ、これ以上煙草の匂ひの多くならない聖都となることでしょう。ここ日本人支部チャペルには、他スカンジナビヤ人支部、オランダ人支部、メキシコ人支部、中国人支部、インデアン支部が同居し、大へんな大世帯のため七分制日曜学校を余儀なくされています。日本人支部は小さい組織であり、現在日本人支部に規則的に出席する会員数は大体三十名



ソルト
レーク市

程、求道者が大体三・四名です。その中日本人二十四名、米人が十名ほど出席していますが、これら米人は、帰還したばかりの旧宣教師であったり、旧宣教師で再任命された現役宣教師たちです。日本人の大多数がお年寄りの方々ですが、そのほとんどが改宗者です。志野支部長以下非常に熱心で信仰深い方ばかりで、若い会員は大いに見習わなくてはなりません。このような外国人支部の本来の目的は外国からの英語の判らない一世改宗者たちのために特別もうけられたもので、二世、三世といった英語の判る世代の人々は普通自分たちのワードに出席しているのが現状です。

ソルトレーク市一帯に住む日本人の数は大体四千人ですが、その

中モルモンは大体三百人程度だと云われます。当日本人支部では英語が判らぬ人半数、日本語の判らぬ人（米人、日本人二世、三世）半数のために、日曜学校の司会、クラスは日本語、英語の双方で行なわれているわけです。従って私たちは「英語による福音のクラス」および「日本語による福音のクラス」を持って居ります。そのため指導者には日本語、英語双方判る人々が必要というわけです。「証し」の時間には、日本語の人、英語の人とまちまちですが、イエスの福音に環境がないこと、言葉遣えど福音は一つだと心から信ずることができます。お年よりの方が多いため若い会員による活動が要求されますが、日本での旧宣教師三世アキ子姉妹（学生）の音楽指導、ユタ大の山田弘子姉妹の日本語福音クラスと日本人留学生たちの活動も大へん支部を助けています。夏期休暇になりますと、日本人留学生の中のある人には四十哩と離れたB・Y・Uからソルトレーク市に仕事に参りますのでそんな折りは学生たちは大いに支部を助けます。時折週末にはB・Y・Uからソルトレーク市の日本人支部に出席する彼らは大いに日本語で「証し」をいたします。

主の導きは私たちの能力を越えて



高橋勝俊

(仙台支部)

神からいただいた尊い証詞を自らの心の中にだけしまっておくわけにはいかず、その証詞を喜びをもって、歡喜に燃えた心をもってあらわそうとするおmoiを押えることができずに、ここに私の証詞を述べます。

それはちょうど、私が会員になる三年も前のことでモルモン教会の名前さえ聞いたこともない当時のことで、或る晴れた日に私にとって驚きに値いする不思議なできごとが起りました。そのことによって私の精神がどれ程、救われたことであつたらうか。そして五年以上も過ぎた今日、それが私にとってどんな意味をもっていたのか、はつきり理解できるようになりました。

当時の私には精神的にまた思想的に多くの悩みと問題を持っておりました。その頃の私はサラリーマンとして勤めておりましたのでその場所（私にとって驚くべき不思議なできごとが起った所）には、よく昼休みや暇なとき散歩に

出かけた所でした。その地名は花壇と呼ばれているように、大変眺めがよく、美しい土地であります。前には川が流れており、すぐそばに野球場や陸上競技場があり、まわりが岡のやうになっており、その中の競技場は一面のクロバに覆われてクロバの花が咲き、蜜蜂が飛び交っている、一幅の画のやうな土地でありました。私はよくそこへ散歩に出かけ、自分なりの思索となくさめにふけておりました。その頃の私の考えは、悩み多くまた大変に苦しいものでした。その頃を知っていたために、その頃に作った一つの詩を書き写しておきます。

パエトンの願い

石は黙し、草木は語らず。

隈なく照す太陽と

金色に光り輝く月光は

超然と澄しわれらに俯瞰する。

無慈悲に冷酷なる彼等、

老木は綽然として立枯れ

毅然として音もなく岩石は割れ、

砕け散る。

おお、わが創造なる神よ、

彼等に与えた不感の恵みよ、

われは黙し、われは語らず。

石の夢のごとく、草木の囁きのごとき

妙なる美を。

ああ、さてもわれらが克ち得たものは、

妖女のごとき精霊。

地獄の果てから、天国の彼方までの

われらの世界にたち込めた、

七色に不気味に輝き亘る怪しき濃霧。

われらの内に燃え狂うバラ色の欲望と

嫉妬の情炎よ。

果てしなく限りなき紫に覆われわれらを

ホントウする名与慾。

空色のごとく澄み渡ったやうに見える

深淵に渦巻く偽善よ。

さても灰色な誹謗と奸策、

われらは傷つき共に苦しむ。
身の程、知らぬ琥珀に惑す

虚栄のたかぶり。

われらはみな草木のごとき緑なる軽蔑を

いと易く天才的に投げうつ。

ああ、それにも増して不信なる迷い、

われら

褐色なる荒野のごとき荒涼さよ。

これら妖しき七色の濃霧は互に溶け合い

現在に未来に、ぎらぎら光る妖しき

不気味な光を放つ。

われは染まぬ。われらのものえ。

笑止の佐汰のパエトンの願い。

三十一、七、

その頃の私には余りにも多くの解明し得ない疑問がありました。個人としての問題、個人対社会の相互価値判断、そして最も重大な問い、何んのために我々は生きているものか？私は天に向って、全知全能なる創造主よ、私たちは何んのために生きているのですか？私たちの目的はどこにあるのです！

大地に生を受ける草、生い茂る樹木、空飛ぶ鳥、すべて生あるものは死滅しそして繁殖する。私たち人類も同じように。しかし人類はすべてのものを解明しようとする能力

を持っている。けれども如何なる目的の爲めに生きているのか、神の主旨を知ることとはできないのです。これが私の心の叫びでありました。また人間社会の根強いエゴが支配して複雑さを増し、ある時には醜い形相を呈してあらわれってくる。神を持たぬその頃の私は絶望に近い思想をもつようになりました。その傷ついた心を自然界にいやしを求めた。自然は私のよい友であり、恋人でもありました。

その頃また次のやうにも願いました。僕のすべての美点をよせ集め、神に誓って僕の心をあなたに捧げ、僕の性悪な性質をゲヘナに投げうち、青春に永遠なる不滅の愛のあることを信じて……。しかしそれができるやうだったら何も苦しむことはない。

そのようなおもいをもって、何時も散歩に行くその牧草に体を横たえ、目を青空に向け絶望に近い苦しみの余り次のやうなおもいをかけました。

♪ロマンスのあることを信じよう。ただ信じて生きよう。偶然、何んの連りもなく、我らの上に訪ずれそこから新しい生活が始まることを信じておこう。♫と思い、手帳を開き、その牧草の上に投げ捨ててやうに置き、目を転じて、牧草に目をやりその開かれた小さな手帳の上を見たとき、私にとつて驚くべき一つの出来事が起りました。

その開かれた小さな手帳の上に、一本の四つ葉のクローバがすつとのかぶさるやうにしてあったのです。♫確

かに四つ葉。それも一枚、一枚が野生する三つ葉のクローバよりも見事に大きい四つ葉のクローバを手に取りました。ロマンスのあることを信じよう。信じておこうと思つて、それらの牧草に目をやったとき、一番始めにその四つ葉のクローバが私の手帳の上で目に写りました。そしてあとはいくら探しても四つ葉のクローバは見当りませんでした。この時、私は救われた。その時の喜びとおどろきは筆に書きつくせない程のものでありました。このできごとは、私にとつて終生、忘れることのできない深い思い出として私の記憶に残ることでしょう。このことは私に起つた最初の不思議なことすなわち奇蹟と呼んでもさしつかえないものと思つております。そしてそれから三年後にこの教会を知り導かれるやうになりました。

どうか若い求道者の方々、青春に限りない可能性と昇業のあることを信じて、真理のために一生懸命、努力して下さい。現在の私の幸せは神様の恵みと導きと光によってなされていることを知っております。今の私から神へ対する信仰をのぞいたら、前よりも一層のひどい苦しみに会うことを知ることができます。それをのぞいたら私は生きて行くことさえ不可能です。最後に小さな疑いより、その疑いを晴らす程の、はっきりした真理と教えがあることを覚えて下さい。これが信仰の本質であると思っております。これらのことをすべて御子イエス・キリストの御名を通して申し上げます。

アーメン。

或る母の喜びと感謝



柳 田 聰 子

(名古屋支部)

二月の地方部大阪地区大会に於て長男征史が大神権に按手聖任されました。

渡辺兄弟が彼を壇上に呼んで並んで立たれ「こんなに大きくくなりました。」と紹介された時私は急に征史の幼い頃を思い出して居りました。教会へ始めて行った時は征史が六才の時でした。始めて大阪の中之島公会堂で地方部長ブライス長老（現副伝道部長）の下に大会が開かれて私は二人の子供を連れて名古屋から出席しましたが、あの時征史は七才のまだバプテスマを必要としない幼児でした。今十九才の誕生日も過ぎ大神権を受ける所まで漕ぎつけて来ました事は慈しみ深い天のお父様のお導きとお恵みであり、ほんとうに多くの宣教師たちや兄弟姉妹たちのお励ましとお導きがあった為と、感謝と感激で胸が一杯の思いでございました。

振り返ってみますと、この十三年間に私共の家庭生活は

随分変わりました。その間には様々なことがあって、家族全員が教会に続いて来る事は確かに天のお父様のお導きと、お力添えがなければ出来ない事でした。私の両親が名古屋に一諸に住むようになった時、父は昔からの会員でしたけれども母はまだ一人でのお寺詣りをしていました。でも天のお父様は忠実、誠実、熱心な僕であるトンゲ長老を我が家にお遣わし下さいまして、に昨年九月ついに母も会員となり、現在六人全部教会に出席しています。お陰様で今回征史も無事大神権をうけ、今十七才の次男にも希望を持って生活して居ります。盗人の盗むことの出来ない大きな宝、大神権を今、父と夫と息子に頂いて居ります私は、身に余る果報者と申すべきでございましょう。その大きなお恵みを失うことのないよう私も何とか御業の下働きをさせて頂きたいと念願して居ります。現在の私にとって最上の幸福は、我が家がシオンの一部と思われる事でございます。

大神権聖任の時には特に許されて私もその神権者の集りの部屋に入らせて頂きました。このお恵みも神権を持つ家族を通して下された祝福であると知って居ります。この家族を頂いて居ります事を深く感謝致します。そしてこの際今迄多くのよい影響を下された宣教師や兄弟姉妹の方々に心からの感謝の気持を表わしたいと思えます。

皆様、有難うございました。今後何卒、私共一同をよろしく御指導御鞭達下さいませ。

「お金のかしい使い方」

この二十年のうちに、世の中の人々の多くは不景気から比較的繁栄の状態へ浮びあがりました。給料が二倍にも三倍にもなった人があるのに、まだ赤字だという苦情をよく耳にします。この問題のうしろにはどんな事実があるのでしょうか。「金のねうちが下った」からだという人もありますが、それだけが金のたらない重なる原因ではありません。ある場合には、人々は収入以上のぜいたく品を欲しいと思う心が急に増して、将来必要なものをさしおいても今すぐにぜいたく心を満足させるものに金を使い、「欲求」を「なくてはならないもの」に育てあげてしまします。

今や人々は、ただ生きて行くためにだけ働らいては居りませんが、現在の高い生活の水準がこのさき長くつづいたとしても、お金をかしこく使わなくてはならないことに変わりはありません。「むだづかい」をすると経済に重大な影響をおよぼします。ある人々の台所から捨てられる食物を集めると、質素儉約な数家族を養うに足ると言われています。私もまた個人的支出と家庭の支出のうちのいくらかをひきしめる必要があります。レオナルドという人は「あれもほしいこれもほし

いという人は貧乏する」と言いました。もしも私たちが、欲しいと思うものをみな買ってしまうと、必要なものを買うことができなくなります。どのようにしたら、使いすぎをふせぐことができるでしょうか。お金の使い方をひきしめてゆく一番たしかな方法は、注意深く予算を立てて、その通り賢明に実行することです。一年の予算を立てるに当っては、次の各段階を必ずとらなければなりません。

(一) 一年の収入をきめる。(二) 一年間にきまって必要な支出を一一挙げる。(三) 今必要としているものを書き出す。(四) 家族一人一人の必要にそなえる貯金を予算の中に含める。(五) 必要のないもの、その重要性に應じて金を割り当てる。(六) 予算通りに金を使っているかどうかを定期的にしらべる。

予算をごまかしてはいけません。もしそのようなことをするならば、あなたの問題は決して解決されないでしょう。

立てた予算を立派に遂行することは一家全体の仕事です。一家が協力して赤字にならぬように努めなくてはなりません。それは将来の必要にそなえて一層注意深く計画をする準

備となり、一家の心配を少くし、家族の一人一人に公平な取りあつかいを与える保証となります。予算を立てることは、一家が維持してゆくことのできる、また維持して行かねばならぬ生活の標準をきめる助けとなるにちがいありません。

自分たちのためだけにむだづかいをしすぎている両親は、その子供たちに教育や教養を与える機会をめぐむことさえできないかも知れません。また金づかいの荒い子供たちは、両親が年をとってから借金にくるしむようにするかも知れません。お金は上手にもうけて上手に使うものです。予算を立てるとお金を上手に使うことがわかります。

主イエスは「あなたがたのうちで、だれかが邸宅を建てようと思うなら、それを仕上げに足りるだけの金を持っているかどうかを見るため、まずすわってその費用を計算しないだろうか」(ルカ伝十四〇二十八参照)と言って、注意深く財政上の計画を立てるのがかしいことを強調なさいました。

予算内で生活をするならば、いつも今までにどれくらいのお金を使ったかがわかるので、けつして使いすぎをすることがないでありましよう。

けいず

記念の書（覚えの書）

渡部正雄

記念の書を保存することは、ことあたらしいことではない。これは、この地上に於ける生活の最初からあることである。アダムとその子孫は、清い汚されない言葉を以て、そのような記録を保存したのである。

ここに一部の覚えの書誌さる、その中に誌すところは、アダムの言葉にてなり。それは靈感の「みたま」によりて書き誌すために、神を呼び求めたる者にみな与えられたればなり。

（モーセの著六〇五）

このように記録する技術はアダムの死と共に滅することなく次の代に受けつがれていった。エノクは熱心に、その歴史と系図の保存につとめた。

而して、死われらの先祖に來りたるに、かかわらず、われらはわれらの先祖を知

りてこれを否むを得ず、すなわちわれらの知る最初の先祖、アダムをわれら知るなり。それは神の指もて、教えられたる手本に従い、われらの中に覚えの書を誌し來れり。而してこれに載するはわれらの用うる言葉なり。

（モーセの著六〇四五―四六）

この聖なる記録が代々と伝わって行つたことは、アブラハムの言葉によつて明らかである。されど、われは今後われ自らよりさかのぼりて創世の前に至る年代記を描かんと努むべし、それは、われがその記録を手に入れし故にして、今に至るまでこれを所有せり。

（アブラハムの書一〇二八）

このような書は、キリスト教徒時代前の、旧約末期以前に於て珍らしいものではなかつた。

その時エホバをおそるる者互に相かたり、エホバ耳をかたむけてこれを聴たまへり。またエホバを畏るる者およびその名を記憶る者のためにエホバの前に記念の書をかきしるせり。〃

（マラキ三〇一六）

ルカ伝の三章二十三節から三十八節までに救主のこの世の父ヨセフを遡つたくわしい系図が出てゐるがそれによるとアダム以降、記録が注意深く保存されて來たことが明らかである。

ニファイと彼がレーバンの家を訪ねた話を読む時、このような記録の重要さがはつきりとわかる。彼らがその故郷を去り約束の地に行くに先だちリーハイは、覚えの書であるレーバンの記録を取りに息子たちをエルサレムに戻したのであった。レーバンの記録は世界の創造を記すモーセの五書、およびアダムとイヴの記録をも含んでをり、この記録からリーハイはこの記録から彼の先祖の系図を発見したのであった。

このような記念の書が、如何に素晴らしい靈感をもたらしたことであらうか、もしも、家族や個人が記念の書を保存していたら、そしてそれを彼らの子孫の用に供するなら、如何に素晴らしい能力の根源となり、また系図

の価値を強めることであらうか、その子孫にとつての価値はアブラハムによって認められ彼は次のように言っている。

されど、神権の権能に関する先祖すなわち、族長らの記録は、主なるわが神わが手の中に守り置きたまいぬ。この故に創造の始まりの知識も、また諸々の遊星、諸々の星の知識も、これらが先祖に知られたるまゝ、われ今日まで守り来れり。されば、わが後に来るべき子孫のため、この記録にある若干かのことを努めてここに誌すべし。

(アブラハムの書一〇三二)

現代の記念の書

記念の書に少くとも四つの型がある。

- 一、個人によって書かれたもので彼の生涯とその先祖に就て記した個人的な記録
- 二、家族全体によって準備され家族中の歴史家によって編集された記録
- 三、各神権時代に教会によって準備された記録
- 四、民族によって準備された記録

個人的な記念の書の記録に定つた形式はない。それは個人的な記録で形式も内容も個人的なものである。けれども、そこには極めて大切な系図や家族の記録の要素が含まれてい

るのである。

一、今日までの記録に補足された同時代の重要事項の記録

二、記念の書の所有者から遡って、出来るだけ遠くまでの先祖に至る系図

三、知る限り遡った先祖までの各家族の記録それは正確完全なものでなければならぬ

四、すべての子孫およびその家族の為の家族の記録

五、よく書かれ説明された生涯の物語、人物や場所の写真も興味をそゝる為に賢明に利用すべきである。

或活動に就ては、もつと丁寧に記録する必要があり次のような項目に分類するとよい

- a 霊的经验
- b 学校時代、経験と成績
- c 教会活動の要点
- d 就職状況の詳細

その他、個人の趣味、環境、印象などに応じていろいろの項目が考えられる。

六、先祖探求の記録及びそれが如何にして発見されたかの詳細な記録

もしもこのようにすれば記録はだんだんばう大となつてついに一冊の書となるであらうそうなつたら個人の記録と生涯の物語を別冊

に分つべきである。そして系図および家族の記録も別冊にすべきである。そして更に大きなければ系図をまた一冊にすべきである。

画や写真や先祖の生活した場所の説明書や地図入りの探求報告は更に一つの記念の書となる。

記念の書の系図上の価値は過少評価されてはならない。それは確かに現在生きている人の生活を豊富にし将来の人にとって大きな価値があるのである。

記念の書を編集する責任は個々人の上にある。十二才を過ぎたすべての末日聖徒は、このような企画をして現在迄の記録を保存すべきである。家族の内でもまだ若い人はこの大切な仕事を始め不断に記録し続けて行くべきである。記念の書中に記されたものですでに死んだ家族員に就ての興味ある大切な記録は写しをとつて、その家族全員の閲覧に供すべきである。家庭の各会員に個人的な記念の書を持つように奨励することは家庭訪問教師の責任である。教会内の多くの会員がもしも彼らが家族機関の一会員であるなら、彼ら自身の記録を持たなくてもよいと云うような考えを持っているがそのような考えは是正されるべきである。

子供の日曜学校ガイド

七月用



七月の太陽の下に、樹木なしの盆地を眺め「正にこの土地である」と、ブリガムヤングが述べたことは、我らモルモンにとって忘れられない出来事です。老若男女の会員が多くの困難と戦いながら、やっとたどりついた目的地であり約束された土地であったのです。今月は開拓時代の物語を教材としてのおきまします。

スーザンはボートで平原を旅しました。スーザンが両親と共に回復された教会や、予言者、ジョセフ・スミスのお話を聞いた時はちょうど七才でした。宣教師が彼らの家を訪問しそれらの事を語ってくれたのです。まもなく、両親はバプテスマを受け、この素晴らしい教会の会員となりました。

スーザンと二人の幼い弟たちも両親と一緒にバプテスマを受けたかったのですが、八才まで待たなくてはなりません。家族はモルモンの会員が住んでいる地方に引越しました。何故なら、スーザンの家のまわりの人々は、宣教師の言葉に耳をかたむけず、新しい教会をにくみ、その教会に属するすべての人が町から出ていくればよいと思っているのです。その人たちは教会の会員を大変、憎んでおりました。

教会の会員たちは平和と幸福の中で住まえる所へ移ろうと決心していました。彼らはロッキーマウンテンへと行く事に決めました。そこには、インディアンが住んでいるだけでした。けれど、そこに着くまでに彼らは百マイルの広い平原を旅しなければなりません。スーザンの両親も他の人々(移動する人々)と共に出発の準備をしました。一台の荷馬車を買ひ、牛を揃えました。持っていけない物は売り払い、食物、衣類、その他、長い旅に必要なものを購入しました。

すっかり準備が整うまえに、スーザンの父親は病気になる急になつてしまいました。スーザンと幼い弟たちは、とてもとても

悲しみました。愛するお父さんや夫がいなくなった今、どおしてよいのか家族は途方にくれました。

その上になお、彼らを悲しませる事は、多くの会員たちが新しい家へと長い旅に、もうすぐ出発しようとしているのに、スーザンの家族だけ人々から憎まれるこの土地に居なければならぬとゆうことでした。

彼らは天なる神が必ず救ってくださる唯一の方と知っておりましたから、ある晩、家族全員で膝をつき、お祈りしました。

母親が、どうぞ父なる神よ、もしもあなたの御心なれば皆さんと一緒に行かせてください。ここに私たちだけ置いてゆかないでくださいと。

次の日の朝早く、誰かがドアをノックしています。スーザンが開けてみますと、背の高い親切そうな男の方がニコニコと立っていました。

「あなたは、ウィリヤム兄弟のお嬢さんですか?」「ハイ、そうです、けれど私のお父さんは……」と泣き出してしまいました。

男の人はしゃがんでスーザンを膝にのせてくれました。「えー、えー、お父さんのことは聞きました、お気の毒に、お母さんはいら

「お母さんと呼んでくるわ」とスーザンは母親を呼びに部屋に戻りました。男の人とお母さんは握手をかわし、男の人がこの様に云いました。

「たった今、ウイリヤム兄弟の事を伺ってまいりました。数年前、私たちは材木場で逢ったことがあるのです。お互に仕事をさがしていましたっけ……私は決して彼の事を忘れてはいません。昨晚、新しい我々の家のごとで打合せに来て、ウイリヤム兄弟が神の下に召された事を知ったのです」

「ええ、彼は行ってしまいました。旅の準備がととのいましたのに、しかし、今は、他の人々と一緒に出掛けることは出来ないのです」と母親が云いました。男の方は「ですから、そのことで、こうして伺ったのです」と申しました。

「あなたは、神様が私たちの祈りをお聞きになって、お答えをくださることを信じていますか？」

「そう思うよう、心がけています」母親は昨晚の祈りを思い出していました。

「私は今、チョット問題があるのですが」とその方が云いました。「カリフォルニアにいる、私の友人がモルモンの人たちが西へ移

動すると云うことを聞いて、手紙をよこしたのです。それによると、ボートを持ってきて



欲しいとのこと。その人たちも一年ほど前にあちらに移り、その時ボートは置いていった

のです。その友人は私に運べる所までいいから持ってきてくれ、そうすれば誰か人を取りに寄こすからと云っているのです。それにも彼らの荷物を私が持ってきてゆかねばなりませんし、また三人の男の人も同行するのです。この方たちは友人の所で働く人ですが、この人たちが、私の食事の用意をしてくれる人は居ないかと、探しているところなのです。祈りました、私もどなたか助けてくれる方は居ないものかと。貴女のお話を伺った時、考えたのですが、もしも、ウイリヤム姉妹がお子さんとボートに乗ってはいくれないかと車もつけ、カバーもつけ、荷馬車の様にすれば、そして私たちに食事を作ってくださいたら、私たち、お互に助かるのではないでしようか、如何でしよう、この考えは？」

スーザンの母親は涙をぬぐい、チョット間をおいてから、「あなたは先ほど、主が祈りに答えてくれる事を信じますかと、尋ねられました、心から信じます、ほんとうに！」これでどうしてボートで平原を旅したかお判りでしょう。

荷馬車のかわりに、ボートの中に今まで準備したすべての品々を詰めこみました。ボートは荷馬車より部屋がありましたので、子供

たちが遊ぶ所もあり、動物をもおく事が出来ました。スーザンは猫を持っていました、もうすぐサヨナラを云わなくてはならないと思うと、可愛想で泣いていまふと、その男の人が「猫を連れていってもいいヨ、場所だつてとらないし、食物だつて、そんなに食べないものネ、猫だつて私たちの仲間でしょう」やつとスノーボール（猫の名前）もスーザンたちと一緒に平原をボートで旅することになりました。まもなく三匹の子猫も仲間に加わりました。

スーザンは決してこの旅を忘れない事でしょう。彼女の子供、孫、ひい孫にも、ボートの中での楽しかったゲーム、お母さんが読んでくれたお話、花つみ、夜のキャンプ、ムクドリをみた事、インディアンを恐れた事、その他全て平原を旅した等の面白いお話を語り伝えることでしょう。

彼女の思い出にはつきる所がないでしょうし、聞く方もあきないでしょう。

その素晴らしい旅をボートで平原を横切った事をそれは、また母の祈りへの答えであつたことを。

練習の讃美歌

七月用

第八九番

曲全体に力強さがみなぎっている男性的な感じのする歌です。

歌の速さは楽譜によりますと（四分音符）140 となつていますから大変速いようですが集会の時には、もう少しゆっくり歌つた方がよいと思います。普通の速さ、つまりモデラートで歌ってください。

歌い出しからフォルティシモで強く歌いますが三段目の「かがやくわれらのたい」はメツォフォルテくらいにし、四段目で再び強く歌つた方がより美しいし、又落着くでしょう。

テナーは非常に高音が使つてありますし、いろいろ音に変化がありますので、一番問題でしょう。三段と四段にとくに注意して十分練習してください。

八月練習の歌 一三二番

子供日曜学校

第四番

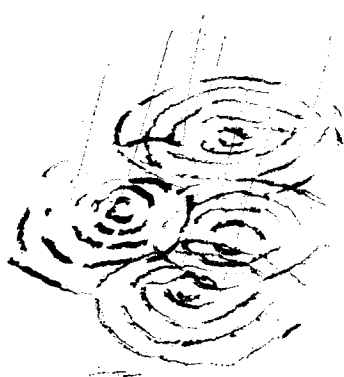
（「子等は歌う」より）

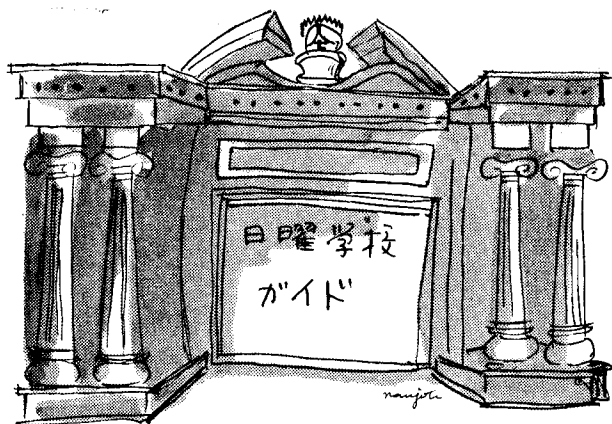
美しいメロディーですが高低のはげしい歌ですから子供には少々むずかしい歌だと思えます。

先ず先生が正しく覚えてください。二段目の第四小節の音を正しくとってください最後のフェルマータは二倍ずつ位の長さにします。

子供の歌う歌ですから可愛らしく歌うことが大切です。特別しずかな歌の他は少々速めに快活に歌う方が日曜学校とくに子供日曜学校のためによいことです。

八月練習の歌 十七番





7 月 用

日曜学校の司会

日曜学校はTVタレントによって司会されるようなものであってはいけません。プログラムはほとんどきまっておるのですから司会者は必要なときだけ立って話をして下さい。プログラムが印刷されておったり、黒板に書かれておるときは司会者は始めの挨拶と分級と発表のときだけ立つことが好ましい。二分半の話を紹介するのはあってもよいがその話の後それを論評するのはよくない。

日曜学校プログラムは次の如く進行させるべきである。

- | | | |
|----|----------|--------------|
| 0 | 前奏 | 少なくとも開会五分前より |
| 1 | 司会者の挨拶 | 三十秒以内 |
| 2 | 開会の歌 | 三分 |
| 3 | 開会の祈り | 一分 |
| 4 | 練習の歌 | 七分 |
| 5 | 聖句朗読 | 一分 |
| 6 | 二分半の話、二人 | 五分 |
| 7 | 福音の研究 | 十時五十分より |
| 8 | 復級 | 十一時三十八分まで |
| 9 | 発表 | 一分以内 |
| 10 | 閉会の歌 | 三分 |
| 11 | 閉会の祈り | 三十秒 |

12 後奏 二分

(13 を使わないため○をつけました?)
一寸解説しましょう。

0 前奏

これは開会五分前よりやって下さい。前奏が始まったら、会衆は話を止めるように役員は気を配って下さい。「前奏がなったら話は止めましょう」のポスターを貼るのは仲々良いと思う。それにはまず司会者席がその模範をしていないといけません。きれいな前奏によってかもし出された敬虔な雰囲気はそこに出席するすべての人々に主とともにいるという喜びと、先週一週間つつがなく過ぎて頂いたという感謝をもつことでしよう。敬虔とさわつきは同居できない!

1 司会者の挨拶

どうやらいやなつゆにはいったとみえて、はじめはじめの日が続きうとうしくなっておりますが、この神の宮に集ってきれいな前奏を聞いているうちに心が晴ればれとしてきました。今日一日下界のいやな天気も忘れて神の御教えを学び楽しい時間をもちましよう。それでは御手許の讃美歌の三番楽し安息の日を歌って日曜学校を始めましょう、位が

適当でしょう。これはあくまで挨拶であって演説になってはいけません。また三十秒以内で終るのが良いでしょう。これは必ず定刻に始めて下さい。本部地方部の役員がおりましたら簡単に紹介しましょう。しかし彼らの挨拶は必ずしも必要ではありません。

2 開会の歌

これは皆が知っている歌で元気な感じのものが望ましいです。時々静かな聖さん式の歌や大半の人が知らない歌のため開会の氣勢がふるわない(？)日曜学校をみかけます。重々気をつけましょう。

3 開会の祈り

昨年の九月号日曜学校ガイドに書きませんでしたので重複を避けますが「小さな」「まとまりのない」「つまらない」などの言葉はぜひ使わないで終りたいものです。また自分しか聞えないようなボソボソはいけません。「これは全会衆の代表ですから」。全会衆が聞えるように大きな声で祈るべきです。なお一分を越えるところとダラけるようですので注意

4 練習の歌

二番目の歌として始めから終りまで歌う支部をみかけますが、これはあくまで練習の歌

ですから間違ひ易い所を指適して正しい歌をうたうように指導して下さい。またここでパート練習はしないで下さい。七分以内に終るように指揮者に守ってもらって下さい。

5 聖句朗読

主に新約聖書の有名な聖句を口語でゆつくり読んで下さい。一ヶ月に二回ほど旧約聖書モルモン経、教義と聖約より聖句を朗読するのも面白いものです。参考までに新約聖書より若干選んだもの昨年十二月号に載せておきましたからみて下さい。これは司会者が定めた方がよいようです(さもなくば第一副会長が全部きめる)。なおこれはテーマが一つのものが望ましいです。

6 二分半の話し

これこそ日曜学校最大の友でもあり敵(？)でもある。各支部廻ってみて一番失望するのはこれで二分半以内に終る人は五人に一人いるかないか。ひどい人などは十五分位とうとうとしゃべっているのには開いた口がふさがりません。それほどこれは難かしいものではないか？、これは何とかして二分半できちんと終らせたいものです。長すぎるものほど良い話が少ないのは面白い皮肉ですネ。これについても昨年九月の日曜学校ガイドに書いた

ておきましたが第一副会長が話をお願いするとき原稿用紙を二枚渡して是非これでまとめて下さいと二分半以内に話が終るよう強調して下さい(これは時間ばかりでなく準備された話のためにも必要です)是非実行して下さい。また余り準備をしなかった言いわけや割当の機会を感謝するなどの前置などは絶対に不要なこと(これらの悪習慣は早く止めるべきです)、日常の体験を通して気がついたこと、学んだことを平易にまた面白く組立てて会衆の興味を引くようなものを考えてもらうよう忘れずに頼んで下さい。また話手が欠席のときはいつも準備をしている等の役員教師がピンチヒッターになって下さい。その後のクラスに分れたり礼拝堂に復したりするときに騒々しくなり勝ちですのでオルガンの伴奏で静かに行われないものです。

7 福音の研究

教師は始まる前にクラスの整とん、チョーク、黒板、黒板消しなど用意して下さい。なお会長はこの間はクラスを訪問してレッスンが如何に行われているか観察し役員教師会でよりよいレッスンがなされるためにお互いに討論するための準備をすべきである。この間に会長会の相談会をしてはいけません。

9 発表

司会者一人だけが簡単な発表をするだけで詳しいことはチラシで後から配るようにしたいものです(MIAの特別プロなど)。

12 後奏

讃美歌を一曲か二曲一回の後奏は有終の美を飾るのにもっともふさわしいものです。これが終ると待っていましたとばかりガヤガヤ話を始めるのはちよつとどうかと思います。礼拝堂での話はなげ止めたいたいものです。仕方のないときは静かに礼拝堂の雰囲気をつわさないように話をするか、礼拝堂から出て話を交すべきです。お金の出し入れも礼拝堂の中ではしないという習慣をつけましょう。我々の神への礼拝の場所をけがすまい!

書くまでもありませんが祈り会は日曜学校を司会する会長会の人が司会すべきで、もし欠席のときには代りの会長会がいつも司会できるようにプログラムを書いた手帳をすべての会長会は前から準備しておいて下さい。

テクニク講座Ⅱ

復習と割当て及び報告

復習

ジョセフ・スミスは一八二三年九月二十一日モロナイ天使の訪問を受けたが一晚のうちに三回同じことをジョセフ・スミスに話をし次の朝も同じことを聞いたので合計四回同じことをジョセフは耳にしたことになりました。

これはこのことが夢や幻というのではなく現実にとつた事実であることを確認させるためというほかに、人間は忘れ易いので何回も復習して始めて自分のものとして理解できるという事実も意味しております。ですから復習は非常に大切なものと言えるわけです。復習の際は次のことに気を付けましょう。

(1) 先生が一人きつと話をしてしまつては殆どどの生徒は右の耳から左の耳へ通過してしまひ何も残らないでしょう。そのため大切な結論を導くような質問を二つ三つ出して生徒たちに考えさせ生徒自身の口より先週学んだポイントを引き出しましょう。そのとき「先週は何を勉強しましたしょう?」というようならばく然とした質問はまずい。適切な質問をよく考えておいて下さい。

(2) クイズ式にして生徒にあてさせる。(□)をうめたり、つないだりする)。これはたまにやると面白くて効果がある。

(3) ここはどこ?、私は誰?と第一ヒント第二ヒントと先週学んだ大切な場所、月日、人物をあてさせることもグッド・アイディア。(4) これを十分以上もやるとレッスンには復習をやっているみたいになる。五分位でキリットさせ今日のレッスンに移るのが肝要。この移り方はスムーズにゆくよう研究して下さい。

割当てと報告

これは人数が多くなると難しいですが上手にやるとクラスを積極的に活動的にするのに非常に役に立ちます(特にA・B・Eコース)しかしこれが行われない一つの理由は先生が割当てするに十分なほど予習していないことのように思われる。あるいは割当てをされた生徒がそれを負担に感じて次の週に来なくなること懸念する教師もある。しかし適当な問題の割当てはその人を活潑な会員にこそすれ不活潑な会員にすることはないのであるから十分にこの割当てとその報告をクラスの中にとり入れるべきだと思う。報告は簡単に二三分位のものにまとめるように適切に指導することが望しい。報告の機会が与えられた生徒はより活潑な会員になることは分りきつたことである。

旧約聖書

根本的なもの

- 1 アブラハムの子孫により全世界の人々は祝福される
- 2 イスラエル民族は特に選ばれて神といろいろの契約をしたこと
- 3 ダビデの子孫より全世界の救主キリストがお生れになること

事	項	年 代	参 考 聖 句
ノア、大洪水		2500	創 世 紀 6～11章
アブラハム神より祝福を受ける		2000	〃 12～25〃
ヨセフ、エジプト王の夢を解く		1800	〃 41 〃
レビの子孫モーセ紅海を渡る		1400	出 エ ジ 14 〃
モーセの十戒			〃 20 〃
ヨシュア、エリコの町を陥落す		1300	ヨシュア 6 〃
ダビデの祖ルツの美しい物語		1150	ル ツ 記
サムエル予言者として召される		1100	サムエル前 3 〃
ダビデ神より数々の祝福を受ける		1000	〃 後 6 〃
ソロモン、神殿を建てる（ソロモンの栄華）		970	列王紀、上 5～8〃
イスラエル民族、イスラエル王国とユダ王国に分裂		930	〃 12〃
エリヤ（エライジャ）の奇跡		860	〃 17〃
ユダ王国のイザヤ、キリスト誕生を予言		740	イ ザ ヤ 7、9〃
モルモン経典 〃			〃 29〃
福千年 〃			〃 11、65〃
イスラエル王国、アッシリヤに亡ぼされる		721	列王紀 下 17〃
ダニエル、末日の真の教会を予言す		600	ダニエル 1〃
ユダ王国、バビロンに亡ぼされる		597	列王紀下25〃
エゼキエル、モルモン経、聖書合本を予言す		590	エゼキエル 37〃
5万人以上のユダヤ帰還許される		536	エ ズ ラ 2〃
ユダヤ婦人エステル、ペルシヤの王妃となる		478	エステル 2〃
マラキ、十分の一で民を叱責		420	マ ラ キ 3〃
エリヤ（エライジャ）の使命を予言			〃 4〃



MIA

リーダー

会長会役員の欄（先月号より続く）

ファイヤサイド

ファイヤサイドは、MIAの定められた活動の一つである。この会はMIAの責任管轄下にあるのであって、その他の如何なる補助組織機関にも、その計画や監督をゆだねてはならない。会長会は毎月少くも一回、ファイヤサイドがMIAの方針に従って執行されているかどうかを調べよ。ファイヤサイドは他の集会とその意義を異にし、社交的な中に靈的経験を提供するものである。家庭、特に、教会の集会終了後、若い人々の集り易い所で開かれ、かつ友情と親しみの満ちあふれた雰囲気の中で行われるべきである。この会に於いては、福音の原則に関する問題について討論する機会が与えられ、キリストの福音の實質について学ぶべきである。かつこの集会を通じて、聖餐会への出席が奨励され、若い人々に安息日を聖く保たしめるための活動を鼓舞することが出来る。

なお、ファイヤサイドに於いては、講義法より討論法の方が良いし、視覚教材をたくさん用いる方がたのしい会となろう。（説教の如き傾向は避けられねばならない。）

集会の全時間は一時間が望ましく、長くても一時間半以上になつてはならない。安息日に若い人たちの帰宅時間が遅くならない様に注意する。軽い食物やクッキー等を出しても良いが、費用をあまりかけない様に、またその食物の準備の爲に集会を中座する人がある様ではならない。費用は支部より出しても良いし、分担制であっても良い。

次に提案するものはファイヤサイドに適切な話題とされているものである。（もちろんこの他に、方針にそつたもので適當なものであれば取り入れることが出来る。）

福音の原則に関する討論

教会の歴史

帰還宣教師の報告と経験談

信仰を強める物語りや経験談

MIAの読書課程やテーマに関する話し合い

聖書の物語りを地理的に求める会

信仰を強めるに必要なメッセージを持つ人の話

音楽の鑑賞

趣味や才能の紹介

經典や教会に関する映画会

福音の実践、教会員としての社会生活等

に関する話し合い

会長会役員はこれ等を適當とみなされる日に、選んで計画を立てるとよい。

指導者の育成

役員と教師がそれぞれの責任に関し、適切に教えられているかどうか調査せよ。会長会の役員は、グループ指導者や教師と共に集会を開き、MIAの計画を説明し、彼らにその計画に関する役割、責任を教えることは極めて大切なことである。又、これらの役員が毎月、聖徒の道「MIAリーダー」を読んでいるかどうか調べよ。

毎週のMIAの集会

毎週開かれていゝるMIAは、会長会の責任のもとにあるものであつて、集会に関する計画は、カレンダーと、MIAリーダーによる方針に従つて前もつて、計画が作られていゝるはずである。このために役割と責任を附与された人が準備しているかどうかをたしかめる。

会長会役員による計画会

この集会が定期的に開かれ、運営されているかどうか調べよ。

役員教師会

この集会が定期的に開催され、かつ適切に運営されているかどうか調べよ。(聖徒の道

一月号を参照)

報告と歴史

報告と歴史に関する記録的な特別な責任は書記に与えられているが、会長会の人々にもそれに対する責任がある。すべての報告と歴史的記録とが正確で、それらが支部MIAの真実状態を描写するものであるかどうかを調べる必要がある。報告は読まれるばかりでなく、調査され、会長の署名を受けねばならぬ。

レッスン

会長はMIAに於いて福音を教える様に任命された人たちを注意深く観察する責任がある。各教師が指定されたテキストを使用しているかどうか、また視覚教材を使っているかどうか、クラスの全員がテキストを持っているかどうか等を確め、各クラスの会員たちの求めているものに精通することは会長会役員の義務である。

一般活動

各活動はグループ指導者と会長会副会長の直接指示下にあるが、会長はそれらの活動に注意し、助力し、賢明な提案を与える必要がある。

運動競技

運動競技には適切でかつ有能な責任者が必

要とされる。若いMIAの会員にとって、興味あるレクリエーションであつて、この会によつて新しい会員をMIAに集わしめるところの一伝道方法であるとも考えられる。会長会役員はスポーツが支部MIA内にあつて盛んに行われる様に計画を持つべきである。

(次号はクラス教師の欄)

七月五日「活動の計画」

エンサイン・ローレル

MIAの会員である若い人たちの一番楽しい夏の訪れです。MIAに於いて一番活動的なプログラムが持たれ、多くの人々はそれに参加して、お互にタレントを発達せしめ、また友情を深めます。私たちの夢はもう海へ、山へと、とんでいることでしょう。

エンサイン・ローレルのリーダーは、この夜に、七月八月のエンサイン・ローレルの活動について皆と討議し、計画を立てるわけです。ある支部にあっては、エンサイン・ローレルだけでピクニックに出かける計画を持つてしようし、ある支部にあっては、何か社会に意義あることを行おうと思つて施設の子供たちを慰問する計画を立てることでしょう。

またある支部では、人手の足りない兄弟、姉妹のお宅を訪問して、労働の奉仕をする計画

を立てるかもしれませんがね。或いは、グループを細かく分けて、美術部はスケッチ旅行をやったり、演劇部は映画や、演劇の鑑賞会を持ったり、音楽部は器楽演奏を行ったり……；考えると色々なことを計画出来そうです。私がこうして、あれもこれも、と頭の中で計画していると限りなく若い人の世界が広がって行って、とっても愉しくなります。学校も夏休みに入るのですから、充実された計画が立てられると、多くの人が参加することでしょう。そうして新しいエンサイン・ローレルのお友達を迎える良いチャンスにもなることでしょう。この夏のプログラムに参加した新しいお友達は、九月から始まる、新しいMIAの年度に、きっとエンサイン・ローレルとしてMIAに出席する様になることでしょう。

さて、クラス・リーダーはエンサイン・ローレルは、社会的に未成年者であると言うことをよく頭において、種々の計画に当ってそれが、彼等に適当かどうか良く検討し、計画を立てる時、クラスの人が何を一番望んでいるかと言うことを知る必要があります。あまり、クラス・リーダーの意見を強要してはなりません。と言って、不適当な計画に対しては正しく矯正する責任があります。

皆で良く考え、七月・八月の間に愉しい想い出を造る様に良い計画を立てて下さい。幾つかの計画が出来ましたら、それをMIA会長に提案して認可を受けて下さい。実際に企画して実行に当る時は、クラス・リーダーによってエンサイン・ローレルの中から実行委員を二名以上選び、一つの計画にクラスリーダーか、或はMIA会長の誰れか、またはMメン・グリーナーの人たちが必ずつきそって下さい。そしてそれ等の会は、開会のお祈りによって始まり、閉会のお祈りをしてから解散して下さい。

(榮子記)

七月十九日「月光のたわむれ」

エンサイン・ローレル特別プログラム

夏の宵のひとつときを私たちは月光の中で美しい踊りを愉しましょう。エンサイン・ローレルはこの夜、ダンス・パーティーを持つことができます。二つ三つの近い支部が集って、ダンス・パーティーを開いても良いわけです。当伝道部においてはエンサイン・ローレルの年令を考え社会的立場を考えると、社交ダンス・パーティーを開くことは一寸むづかしいようです。でも、高等学校でもフォーク・ダンスは大いに奨励されていますので、フォーク・ダンス(スクエア・ダンス)パー

ティーなら開くことが出来るでしょう。公会堂や、区民会館、市民会館等借りて、大きなパーティーを持ってもいいですね。地方部でやるのが出来れば素晴らしいでしょう。こんな時、学校のお友達を誘ってMIAを紹介するのでもいいですね。クラス・リーダーは、会長の人と良く打ち合せて、幾つかの支部のエンサイン・ローレルと合同でやるのでしたら、早めに、各支部のMIA会長同志で計画を立てて下さい。その際支部長の認可が必要です。ので、第二副支部長を通して計画を立てて下さい。

プログラムが決定しましたら、場所の選定宣伝、招待、装飾、音楽等の係を定めて、多くの人たちに愉しい計画を知らせて下さい。

「月光のたわむれ」等と、ロマンティックなテーマがついているのですから、エンサイン・ローレルの美しい想い出の一つになる様に企画しましょう。此の夜冷い飲物等出してもいいですね。私もエンサイン・ローレルのパーティーに招待されたいものだと思いますよ。

(榮子記)

七月二十六日「スポーツの夕べ」

MIAで年中、最も活動的な夏がやってきました。夏のプログラムは、我々に若さと夢

を与えます。この夏も、我々のMIAは最も多くの楽しいプログラムを運んで来ることでしょう。七月二十四日の開拓者記念日が過ぎましたけれど、ある支部に於いてはこの二十六日に、開拓者記念を行うことでしょうか。

「スポーツの夕べ」ですから、戸外に出てスポーツをやりたいのですが、MIAの時間は夜ですし、適当な照明設備のない所では計画を立てるのに困ることでしょう。教会堂を持っている支部で卓球台のある所では、卓球大会を開くのもよいですし、庭に電気をつけて、ゲーム的な軽いスポーツを計画しても良いですね、東京のある支部では、毎年このスポーツの夜にMIA会員でプールへ泳ぎに行きます。東京や他の大都市にあっては恵ま

れていて夜間のプールを開いている所があった、その様な計画を立てることが出来ます。或いはスライド等によって開拓者の歩いた道をたどり、コース等して、当時の信仰深いモルモンの苦難の生涯に想いをよせるのも意義があります。現在恵まれている我々の生活をおもう時、当時の人が手押し車で雪の中を何里も歩き続けて行った物語りは、私たちに強い感動を与えます。昔のモルモンは強かった現在のモルモンだって強いはずです。開拓者記念の行事は、単にその頃の衣裳をつけて

フォークダンスを踊り、火にウイナーをかざして焼くことだけではないはずです。モルモンとしての根底に流れているものを、私たちが今再び新たに認識し、自覚することではないでしょうか。現在いかに恵まれていても、いつまた、私たちの上に、苦難の生活が訪れるかわかりません。そんな時にあって若いモルモンである私たちは証詞を失わず、大地にしっかりと足をふみしめて、主への讃美をわすれず歌い続けて行くはずです。開拓者記念日は、我々に、その様な証詞を与えているはずです。この様な場合に、MIAはもちろん無料で開かれるべきですから、費用の一切は支部で負担することになります。

スポーツの夜は、日頃MIAに出席している人たちが全員参加出来る様なものを計画しなければなりません。ある一部の人たちに興味があるだけであって、多くの人が参加することの出来ないものであっては、MIAのプログラムとして意味がありません。大きな活動的なスポーツが企画出来ない時は、自分たちに与えられている条件を良く理解して、ゲームによる軽いスポーツを考えましょう。たとえば西瓜割りや、障害物競走（十二月号聖徒の道参照）、グループによる競技（風せんつぶし、豆リレー、輪つるリレー等）等、け

っこう汗をかいて愉しく遊べます。

開拓者記念として行う支部は、当時のことを良く知ることが第一です、楽しく火をたいて、開拓者のコスチューム等つけて、フォーク・ダンスをするのも一計です。

「スポーツの夕べ」は、MIA会長会の全員にその責任があります。また、MIAのスポーツ指導者は直接実行委員として任を取ります。良く計画会を開いて場所の指定、企画を立てて下さい。そして宣伝を充分に行って、一人でも多くの人の参加出来る様にして下さい。また支部内の兄弟、姉妹に招待状を出しましょう。特に開拓者記念として催す支部は年輩の方々の出席を歓迎したいので必ず招待状を出して下さい。MIAだけにポスターをはずずに、日曜日にもわすれずに、宣伝して下さい。支部発表事項の中にも加えて、支部内に、この夜の催しが良く知られる様にして下さい。

大きな計画になると実行委員はたくさんのアシスタントを持たなければなりません。責任は出来るだけ分けて持つ様にしましょう。学校も夏休みに入りますから、エンサイン・ローレルの協力も期待出来るでしょう。成功を心より祈ります。



末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹

30

第三部 オハイオおよびミズーリ時代

第十八章 大管長会の組織―重要な啓示

の数々

四、カートランドに於ける予言者の働き。 千八百三十二年から三十三年にわたる冬の間、ジョセフ・スミスはちょうどその時神の誠命によって（教義と聖約第八十八章）組織された「予言者の塾」に在って聖書の改訳に従事し、また折々大会を催おしてその時を過ぎた。一月には長老の集りが度々開かれ、その時ヨハネ伝第十三章に誌されている「洗足の儀式」が主の誠命（教義と聖約第八十八章）の通りに行われた。二月の二日、予言者はその時に改訳をするよう指示を受けた程度に新約聖書の改訳を完了し、それがシオンに着くまで開かないように封をした。数通の書簡が聖徒にあてて書かれ、シオンに在る長老たちとカートランドに在る長老たちとの間に、彼らの仕事に関し多くの通信がかわされた。

五、大管長会の組織成る。 千八百三十三年三月十八日ジョセフ・スミスは大管長とし、シドニー・リグドンおよびフレデリック・G・ウィリヤムスを副管長とする大管長会がはじめて組織された。これは三月八日に下った啓示（教義と聖約第九十章）に示されている誠命が実現したことであって、その中で主はジョセフ・スミスに向って「われ、また誠に汝の兄弟たちシドニー・リグドンとフレデリック・G・ウィリヤムスに告ぐ。彼らもまた罪を赦され、またこの最後の王国の鍵を保つことに於て汝に等しと認めらる」と仰せになった。

これより一年前、千八百三十二年の三月に主はフレデリック・G・ウィリヤムスを啓示によって（教義と聖約第八十一章）この地位に召し「大神権の大管長会に常に属する」ものもろの鍵を彼に持たせたもうたのであった。ジョセフ・スミスはシドニー・リグドンとフレデリック・G・ウィリヤムスの二人の頭に手を按ぎ、この大きな責任を彼と共に負うよう按手聖任をした。このようにして、教会組織に於ける今一つの歩みが完了したのである。

六、シオンのステーク部であるカートランド。千八百三十三年三月二十三日、聖徒らがこれからシオンのステーク部を建てることのできる土地をカートランドで買いとめるための委員を任命するために長老たちの会議が召集され、協議を重ねた後にエズラ・テールとジョセフ・コーの二人から成る委員を任命した。後になってこの土地が以上の目的で購入されたから、多くの長老たちはカートランドに在る聖徒たちのために一つの市を建てる目的を以ていろいろな方法で働らきはじめた。

七、シオンに於ける暴徒はじめて集合。千八百三十三年の四月、ジャクソン郡に於ける暴徒の集合がはじめて起った。約三百人の男が集ってジャクソン郡に於ける教会の会員の撤退を求める運動の計画を決議した。それと同時にジャクソン郡に於ける長老たちは厳粛な祈りを捧げるために会合して、彼らの敵の努力が失敗に帰するよう主にねがい求めた。長老たちがこの際会合して祈り求めたのはもつともであった、というのは彼らの敵の悪意がいかに甚しかったからである。

しかし、聖徒たちもまた主の前に罪なしとはされなかった。彼らはシオンを建てるために下された主の誠命を厳密に守っていなかった。

た。彼らの中に嫉妬が起り、不平の聲がきこえ、予言者以外のおもだった兄弟たちはもちろん予言者さえも批判的になっていた。会員の中にはシオンを建てるために下された全財産献納の律法を守っていなかった者があって、彼らの謙遜はある点に於て忘れられていた。しかしながら、この場合彼らの敵の協議は水泡に帰した。聖徒らの祈りを主が聞き入れたもうたのであった。

八、カートランドに於ける主の家。千八百三十三年五月四日に開催された大祭司の大会では、千八百三十二年十二月二十七日と、千八百三十三年三月八日に下された啓示に従って、学校として用いる家を建てるための予約金を得るために一委員会が任命された。この二つの啓示によって、長老たちは世の人に警告をするために出て行く前に、いろいろな指示を受けることもできたのであった。その委員会の委員としてハイラム・スミス、ジェレド・カーター、レイノルズ・カフーンの三人が任命された。五月の六日、ジョセフ・スミスは今一つの啓示を受け、その中で主はカートランドの地に於て「シオンのステーク部たる市の設計と開始準備と基礎を置く仕事を始めよ」と教会員に命じたもうた。また一軒の家も印刷、譚訳および「何にても主が彼らに命じたもう」仕事をするために建てられるはずであった。委員会はこの目的を遂行するための予約による資金を集めにかかった。彼らはこれより前に主のために一つの家を建てて祈りの家、断食の家、主の御名に捧げた神殿とせよと命ぜられていた。

九、カートランド神殿の始まり。六月の一日までにカートランド神殿建築の準備がはじまっていた。廻状が建築委員会から教会の各支部へ送られた。七月一日、予言者は神殿の建築について主の御

ことを受けたが、その中で聖徒らは建築の働らきを急げと命ぜられ、またこのような建築の必要であることが知らされた。

主は「汝らわれに対して一つの甚だ重き罪を犯せり。汝らはそれにて、わが家を建つるにつきて与えたる万事に於ける大いなる誠命をこれまで考慮せざりしなり」と仰せになった。それから、その家を建てる理由は一部分（当時このような家を建てる目的が完全に知らせてなかったから）次のようなものであると仰せになった「それはわれその備えを以てわがくすしき業を行い、すべての人にわが「みたま」を注がんため、使徒たちをしてわが葡萄園に最後のはさみを入れしむる備えをなさしめんとする故なり。……その家の中に於てわれは選びたる者たちに天よりの能力の祝福を授けんと思ふなり。こは、御父の汝らに爲したまいし約束なればなり。その故に、正にエルサレムに於けるわが使徒らのごとく、われ汝らにここに留まれと命ず」と。

これから、長老たちが全世界に福音を宣べ伝えるために充分備えをして出て行く前に、長老たちに与えるべき或るエンダウメントと祝福とがあったことがわかる。これらの祝福は主の神殿の中でだけ受けることができたのであった。こういうわけで主は神殿をすぐに建てよと命じたもうた。福音を宣べ伝えることが目下の急務であるのに働らき人が少なかったからである。それであるから、聖徒たちは教会の内外に多くの困難があったにもかかわらず、主の家を建てるために熱心に働らいた。

十、神殿に関する最初の仕事。 六月の五日、ジョージ・A・スミスは始めて石の積荷を運搬してきた。また建築委員であるハイラム・スミスとレイノルズ・カフーンの二人は基礎をつくるための溝

を掘り始め、後に自らの手でこの仕事を完了した。そのほかの人々もまた自ら進んで仕事を助けたためにこれらの方法により神殿建築の仕事は大分進捗した。

十一、「ドクター」ハールボート事件。 六月三日、フィラス・ハールボートに対して告訴が提起された。彼は東部へ伝道に行っていた間にクリスチャンにふさわしくない行為があったことについて訴えられたのであって、調査の上彼のもっている長老の免許状がとりあげられた。二十一日に彼はこの事件について控訴し、その結果自己の不正な行為を告白しうわべだけの悔改めをしてみせたので、またもとの職にかえることができた。しかしながら、それから二日たつて彼の誠意が問題になった。そして彼の言うことを聞いていた証人たちが、ハールボートは悔改めをせず「ジョセフ・スミスの神」を欺いたと証言したによつて、ハールボートは教会から破門された。後になつて彼は痛烈な憎悪をあらわしたから、千八百三十四年四月にはジョセフ・スミスの生命をおびやかしたかどにより「二百ドルの金額を充分な担保とするによつて」以来おだやかにしているよう裁判所から義務を負わされた。

「註」「ドクター」ハールボートについては、彼の背教と破門の後にあらわれた一つの事以外には何を述べても意味がないであろう。その一つをこれから簡単に述べることにしよう。彼は「ドクター」ではなかったが人呼んで「ドクター」ハールボートと言った。かつてメソジストの信者であつたけれども、当教会へ加入する前に不道徳な行為をしたかどでメソジスト教会から追放を受けたことがある。彼はペンシルベニアで宣教師の働らきをしているうちに、アメリカインディアンを主題として取り扱ったソロモン・スボールディ

ングという人の書いた原稿があることを耳にした。ハールボートは悪い考えをもっていた。もしもモルモン経はスポールディングの原稿から盗んだものであるということを知れば、それは「モルモン教」にとって回復のできない痛手になるであろうと。ほかの者たちがこのたくらみに興味をもつようになり、イー・D・ホーという者が「仮面をはがれたモルモン経」と題した本を出版した。スポールディングの書いた原稿はこの時もろろ紛失していたから比較のしようがなかった。イー・D・ホーの出版した本は永年の間モルモン経に反対する奉公を大いにさせられていたが、後になってスポールディングの書いた原稿が発見された。この原稿は現にオハイオ州オベリン大学の文庫におさまっているが、この原稿をモルモン経とくらべてみると、聖書が「ガリヴァ旅行記」に全く似ていないと同じく全く似ていないことがわかった。その時以来、モルモン経の起源に関する「ハールボート・ホーの説」は完全に息の根を絶たれた。この問題について徹底的に誌したのを見たいと思う読者はジョージ・レイノルズ長老著「発見原稿に関する作り話」〔英文〕およびビー・H・ロバートズ長老著「神の新見証者」第三巻、三四頁「英文」を参照されたい。

第十九章 ジャクソン郡からの追放

(千八百三十三年)

一、予言者の警告。 予言者ジョセフ・スミスはミズーリに在る聖徒の頭上に今や襲いかかるうとしている暴風雨を先見していた。千八百三十三年の一月に予言者はウィリヤム・G・フェルプスに次のような手紙を書いている。すなわち「主はこの末日に御ことばが

純粹な状態で出て行く場所を持ちたもうであらう。もしもシオンが神の御前であらゆる事を善しと認められるために自らを清めなければ、主は別の民を探し求めたもうからである。また、神の御業はイスラエルが集められるまでつづいて行われ、御声に聞き従わぬ者は神の怒りを受けると思わなくてはならぬからである。……われらの心は、君の書簡にもまたギルバート兄弟の書簡にもあらわれている精神、すなわちシオンの力を疫病のように衰えさせている精神を見てひじょうに悲しんでいる。もしもその精神を見つけて君たちの中から追いはらわなければ、今や来らんとする神の怒りを受けるようシオンを熟させるにちがいない……これはシオンの安否についておそれおのき、もしもシオンが悔い改めないならばシオンに来るべき天の怒りをおそれおのいてる君たちの兄弟からの言葉である」と。

以上のようなおそれは、また同じ日にカートランドに於ける大祭司の大会からシオンに在る兄弟たちへあてて書かれた書簡の中にもあらわれていた。すなわち、

「われらはシオンのことを喜びたい気がするよりはむしろシオンのために泣きたいような気がする。神のさばきがまさにシオンの上に落ちようとしていて、シオンが悔い改めないとその上に落ちるにちがいないからである」と。

二、ジャクソン郡に於て暴徒の暴行事件発生する。 当教会の会

員たちがジャクソン郡に住居を定め始めるや、ほとんど直ちに妨害があらわれた。前からの植民者たちはその牧師たちの扇動によって乱暴をはたらき、またその牧師たちは会員の悪口を言い、虚偽を言いふらす運動を起した。

伝道本部だより

バプテスマ

一九六二年三月

阿倍野 福本 福本 福本 三本 登角 関木 鈴木 山崎 旭川 野賀 釣賀 福岡 矢野 花村 比嘉 平塚 岩森 中森 永田 野間 小野田 柴坂 田井

重岡 重岡 重岡 上園 山上 群馬 荒牧 浜田 今井 加納 森寺 小野寺 齊藤 佐藤 品田 広島 船津 木村 三浦 大浜 甲府 岩下 小島 白倉

京都 亀谷 北村 牧田 岡村 昭光 宇高 山口 山野 吉本 松吉 住吉 室蘭 大西 名古屋 吉野 新瀉 森田 大久保 大和田 坂井 西宮 大内 岡町 千代 藤本

井上 佐藤 未吉 岡山 池田 横山 三ノ宮 服部 林田 石谷 北口 茂村 中村 高津 協津 札尾 平尾 佐藤 仙台 小谷 大谷 佐藤 仲本 大原 塩田 鈴木 高木 梅沢

渡辺 山崎 東京 団藤 渡辺 東京 井上 森尾 宮島 鈴木 内田 ウエムラ ヨシヒロ ヤマダ タカコ 東京 宮崎 阪本 山形 高木 普天間 新瀉 那覇 新瀉 小松 田島 高松 韓国で二十名

神権

執事

タケダカズヒロ

ハラユウジロウ

ミツイトヨノリ

ミズエミツオ

イレイマサオ

タクシエイセイ

韓国で一名

教師

スミヨシマサヒロ

ツクダヒロシ

ツカヤマタスケ

韓国で二名

祭司

トメマゴキチ

(広島)

(岡町)

"

"

(那覇)

"

"

(広島)

"

"

(普天間)

"

"

(那覇)

支 部 名	3 月 受 浸 者 数			合 計		
	兄 弟	姉 妹	合 計	兄 弟	姉 妹	合 計
旭 川	1	1	2	3	15	18
室 蘭	1	0	1	1	0	1
小 樽	1	0	1	5	1	6
札 幌	0	2	2	1	8	9
群 馬	4	5	9	9	10	19
甲 府	0	3	3	1	7	8
松 本	0	1	1	0	5	6
新 潟	2	2	4	4	8	12
仙 台	2	1	3	4	5	9
東 京 中 央	4	4	8	13	11	24
東 京 北	2	1	3	2	5	7
東 京 南	3	5	8	6	7	13
東 京 西	1	1	2	9	4	13
山 形	1	0	1	2	5	7
横 浜	0	0	0	3	5	8
阿 倍 野	1	8	9	2	10	12
福 岡	9	7	16	9	12	21
広 島	1	3	4	6	6	12
金 沢	0	0	0	2	1	3
京 都	2	6	8	3	7	10
名 古 屋	0	1	1	2	3	5
西 ノ 宮	0	1	1	2	1	3
岡 町	2	3	5	2	9	11
岡 山	0	1	1	0	6	6
三 ノ 宮	4	4	8	4	4	8
柳 井	0	0	0	1	1	2
普 天 間	0	1	1	0	1	1
那 覇	3	2	5	10	8	18
合 計	49	65	100	105	165	272

EIGO KAIWA TEKISUTO

DAI ROKU KA

- 1 **Tanaka :** Kirisuto no Kennō desu.
- 2 **Chōrō :** Hai Kirisuto no mina ni yotte okonau chikara, sunawachi Kennō wo oatae ni narimashita. Seiten no nakade kono kennō wa shinken to yobarete imasu. Shito tachi wa shinken wo motte imashita ga, sono kennō ni yotte nani wo suru koto ga dekita deshō ka?
- 3 **Tanaka :** Oshie wo toitari byōki wo iyashi tari shimashita.
- 4 **Chōrō :** Baputesuma wa dō deshō ka?
- 5 **Tanaka :** Hai, Baputesuma wo hodokosu koto mo dekimashita.
- 6 **Chōrō :** Tanaka san, shito ga baputesuma wo hodokoshiha toki, naze kamisama wa sore wo tadashii to omitome ni nari mashita ka?
- 7 **Tanaka :** Shito wa kennō wo motte hodokoshita kara desu.
- 8 **Chōrō :** Tanaka san, anata wa shinken towa nandato omoi masu ka?
- 9 **Tanaka :** Oshie wo toite baputesuma wo hodokosu kamisama no kennō desu.
..... (V. 1)
- 10 **Chōrō :** Dōshite shiinken wa sonna ni taisetsu deshō ka?
- 11 **Tanaka :** Hito wa kamisama no waza wo nasu tame ni shinken ga hitsuyō da kara desu.
- 12 **Chōrō :** Tashika ni shinken wa hitsuyō desu. Moshi bokushi ya shinpu ga shinken nashi ni baputesuma wo hodokoshita to shitara, kamisama no me kara mite donna imi ga aru deshō ka?
- 13 **Tanaka :** Nanimo imi ga arimasen.
- 14 **Chōrō :** Dōshite deshō ka?
- 15 **Tanaka :** Hitsuyō na kennō wo motte inai kara desu.
- 16 **Chōrō :** Sōdesu. Ikura bokushi ya shinpu ga seishin sei de attemo, shinken nashini hodokosareta baputesuma wa

ENGLISH CONVERSATION TEXT

LESSON 6

- 1 **Tanaka :** His power .
- 2 **Elder :** Yes, he gave them the power of authority to act in his name . This authority in the scriptures is called the PRIESTHOOD . And now that the apostles had the priesthood , what were some of the things they could do with this authority ?
- 3 **Tanaka :** They could preach and heal the sick .
- 4 **Elder :** What about baptism ?
- 5 **Tanaka :** Yes, they could do that , too .
- 6 **Elder :** And, Mr, Takaka , when an apostle baptized a man , why did God recognize that baptism ?
- 7 **Tanaka :** Because the apostle had the authority to do it .
- 8 **Elder :** In your own mind , what is the priesthood , Mr . Tanaka ?
- 9 **Tanaka :** The authority of God to each and baptize .
..... (V. 1)
- 10 **Elder :** Why is the priesthood so important ?
- 11 **Tanaka :** Because a man must have it to do those things .
- 12 **Elder :** He certainly must. Suppose a priest or minister baptizes without the priesthood what does that mean in the sight of the Lord ?
- 13 **Tanaka :** It doesn' t mean anything .
- 14 **Elder :** Why is that ?
- 15 **Tanaka :** Because he would lack the necessary authority .
- 16 **Elder :** Right . So even though a minister might be sincere , unless he has the priesthood , will the lord recognize a baptism performed by him ?
- 17 **Tanaka :** No. The priesthood is necessary to act for God .
- 18 **Elder :** Before you can tell whether or not the man himself has the priesthood , what do you have to know about his church ?

- kami kara mitome rareru deshō ka?
- 17 **Tanaka :** Iie mitome rare masen .
Shinken wa kami ni kawatte waza wo okonau tameni hitsuyō desu .
- 18 **Chōrō :** Sono hito ga shinken wo motte iruka dōka wo shiru maeni , anata wa sono hito no kyōkai ni tsuite nani wo shira nakutewa nari masenka ?
- 19 **Tanaka :** Makoto no kyōkai ka dōka wo shira nakereba nari masen .
- 20 **Chōrō :** Sonotōri desu . Kirisuto no kyōkai wa donoyōni soshiki saretaka to yū koto ga wakari mashita ga , Iesu Kirisuto no kiyōkai de aru to wakarū hitotsu no riyū wa nan desuka ?
- 21 **Tanaka :** Kyōkai wa Jūnishito no dodai no ue ni taterareta mono de nakutewa ikenai to yū koto desu .
- 22 **Chōrō :** Mochiron , shito dakede kyōkai no soshiki wa kanzen dewa arimasen deshita . Sukuinushi wa makoto no kyōkai no nakani hokano yakuin tachi wo erabi mashita .
Watakushitachi wa ima korera ni tsuite hitotsuzutsu ohanashi suru tsumori dewa arimasen , Taisetsuna kotowa korera wa mina Iesu Kirisuto no kyōkai no soshiki no ichibu de atta to yū koto desu . Kirisuto no Kyōkai ni korera no yakuin ga hitsuyō de aru to yū koto ga dōshite owakari ni nari masuka ?
- 23 **Tanaka :** Iesu ga korera no yakuin wo kyōkai ni okitamōta kara desu .
- 24 **Chōrō :** Hai , sōdesu . subete no yakuin wa shinken wo motte imashita ga , shitotachi wa shidōteki tachiba ni okare mashita . Shitotachi wa kyōkai no naka no kanri yakuin deshita . Kanri yakuin to shite , hokano hito ni shinken wo ataeru kyōka ga dekita nowa shitotachi dake deshita . Tanaka san , naze kamisama wa shinkensha wo kanri shi , shinken wo hokano hito hi ataeru koto wo kyōka suru tame ni kono chijō ni dairinin wo hitsuyō to saretā nodesuka ?

- 19 **Tanaka :** Whether it is the true church .
- 20 **Elder :** Right . Now , from the standpoint of church organization , what is one way to recognize the Church of Jesus Christ ?
- 21 **Tanaka :** It has to have a foundation of twelve apostles .
- 22 **Elder :** Of course the church organization was not complete without apostles alone . The Savior chose other officers in his Church . We shall not take time to discuss each one of those now . The important thing to realize is that they were all part of the organization of the church of Jesus Christ . How do we know that they are necessary in the Church ?
- 23 **Tanaka :** Because Jesus put them there .
- 24 **Elder :** Yes , he did . All of these officers held the priesthood , but apostles were put in a governing position . They were the presiding officers in the Church , and as such they were the only men who could give permission to pass the priesthood on others . Now , Mr . Tanaka , why did God need someone here on the earth to control the priesthood and authorize it to be passed on to others ?
 (V. 2)

(Vocabulary 1.)

The power of authority (kennō toyū chikara), heal the sick (byōki no hitobito wo iyasu), that baptism (sono baputesuma, shito no hodokoshita baputesuma), to do it (sore wo suru, baputesuma wo hodokosu), in your own mind (anata no kokoro no nakade, nan to kangae masuka),

(Vocabulary 2.)

Must have it (mota nakutewa naranai), those things (sorera no koto, kami no waza), suppose (moshimo...shitara), lack (kakete iru, motte inai), even though...might be (tatoe...deattemo), unless (ga nakereba), have to know (shira nakereba naranai), from the standpoint (...no tachiba kara), has to have (motte inakutewa naranai)

クイズルーム？？？

今回は旧約聖書の中から出題します。我と思わんものは試みてみよ！

(1) モーセの十誡は□□□□□記の□□章にあります。

(2) モーセの律法と十誡はどう違うか三行位で簡単に説明せよ。

(3) 旧約聖書の中で女の名前がついている書は□□記と□□□□書の二つだけです。

(4) エルサレムを救おうと一生懸命努力をした予言者は□□□□です。

(5) エルサレムの再建についていろいろ書いてある書は□□□□記です。

(6) モルモン經の出現の仕方やコロンビヤ大学のアントン教授の「これは封じてあるから読めない」などが書いてあるのは□□□□書の□□章で聖書とモルモン經が一つになることの予言は□□□□□□□□章にあります。

(7) やがて来る福音千年についてその平和な情景を画いているのは□□□□書□□章と□□章です。

(8) イスラエル人が皆殺しにされそうになったのが救われたのは□□□□□□□□□□書に書いて

あります。

(9) 友人や家族、兄弟から見捨てられても信仰を失わなかった予言者。

(10) ソロモンの当時世界一の富と権力と知恵と栄華を述べているのは□□□□□□です。

(11) 人間が神のかたち似せて造られたことは□□□□記□□章□□節に書いてあります。

(12) サムソンとデリラについての面白い話は□□□□記の□□□□章から□□□□章まで書いてあります。

編集後記

▲梅雨のはしりらしい雨にうたれた新緑が一段と彩やかにえています。

東京地方水不足の昨今、恵みの雨にもならずいたずらに道のそここにぬかるみを作るのみです。そのぬかるみの水を跳上げて神風自動車走り廻ります。そうした人間の作為的なものとは別に、自然は日、一日と着実にその変化を教えてくれます。編集室の前のつつじが散り、今はバラのさかりです。その他色とりどりの花が目を楽しませてくれます。

大変に環境のいい所を仕事場にいただいて心から喜んでいます。私たち編集室一同「親

しまれる雑誌」「愛される雑誌」にしたいと張り切っているしだいです。

▲「心の貧しい人たちは、さいわいである。天国は彼らのものである」今月号この聖句を中心にイエス・キリストの山上の垂訓を解く佐藤兄弟の「聖書研究」次号が期待されます。

▲クイズルームが復活しましたが、解答は別に募集しません次号の解答をお待ち下さい。

▲投稿は伝道本部でなく、東京都港区青山北町六丁目三四番地、末日聖徒イエス・キリスト教会「聖徒の道」編集部です。

▲支部だよりのべ切りは毎月七日ですから、おくれないうちに早めに送ってください。七日以後になりますと翌月に廻すことがあります。

▲各支部の委員のみなさま毎月の御苦勞心より感謝申し上げます。(小林)

月刊「聖徒の道」第六卷第六号

一九六二年六月一日発行

実価 一カ年 六〇〇円

半年 三〇〇円

一部 五十円

編集兼 ポール・C・アンドラス

発行人 東京都港区麻布広尾町十四

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

図 書 案 内

教義と聖約	
高価なる真珠	上質革製合本.....1100円
モルモン経	
教義と聖約	合本.....300円
高価なる真珠	
モルモン経	(新訳).....200円
信仰箇条の研究	330円
モルモンとは？(新版)	150円
完成への道	200円
初等協会教科書	150円
総合聖句の手引	150円
日本系図探究要覧	100円
アロン神権者用学科課程	150円
メルケゼデク神権、教師と生徒用	
「モルモン経の読み方の手引」	200円
ナザレのイエス	100円
正しい日本史	100円
家督権の祝福	100円
扶助協会手引	50円
求道者教育法	120円

日曜学校用

宗教と生活Ⅱ	150円
回復された神の教会	100円
福音の実践	150円
聖典中の指導者	150円
我等の標準聖典	200円
古代の使徒	150円
福音の紹介	200円
シオン山の救い手たち	200円
教義と聖約の教え	150円

M I A 用

生活の目標	150円
モルモン経研究ガイド	100円
M I A・エンサイン・ローレルの手引	150円
演説が上手になる法	150円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌(新版)	400円
子等は歌う	100円
レクリエーション歌集	400円

.....注文は各支部長へ.....

支部所在地

北海道地方部

旭川

旭川市八条五丁目
MIA集会場 旭川公会堂

室蘭

室蘭市幸町八九
電話(七〇五四)

小樽

小樽市富岡町一ノ三五
電話(二一八二二四)

札幌

札幌市北二条西二四丁目

東中央地方部

群馬

高崎市並覆町二七五

甲府

甲府市山田町六三

松本

松本市同心町六一二

新潟

新潟市中大畑町五五七
電話(二一八六六〇)
集会場 中央会館 四階

仙台

仙台市光禅寺通り二八
電話(五一〇八九七)

東京中央

東京都渋谷区八幡通一ノ三四
電話(四〇八一三三〇七)

東京北

東京都豊島区高田本町二ノ一四八七
集会場 日曜学校 武蔵野ドレメ
MIA 徳川生物研究所

東京南

東京都大田区南千束町二四九
電話(七八二一六一三二)

東京西

東京都港区青山北町六ノ三四
電話(四〇二一四〇一〇)

山形

山形市八日市八五〇

横浜

横浜市港北区篠原町二九
電話(四九一八七七二)

西中央地方部

阿倍野

大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
福岡市東葉院二ノ四〇

福岡

福岡市東葉院二ノ四〇

広島

広島市古田町古江四〇〇ノ三
金沢市成瀬町二ノ四 野田方
集会場 農業センター

京都

京都市左京区松ヶ崎桜木町一四
名古屋 昭和区北山町三ノ四一
電話(七三二四二一〇)

西宮

兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
電話(五一〇四二二)

岡町

大阪府豊中市岡町北二ノ一八
岡山市七日市七八

三宮

神戸市灘区篠原本町四ノ三五
電話(八六一二六〇二)

柳井

山口県柳井市今市三九一

沖繩地方部

沖繩宜野湾村野嵩区三二八
沖繩那覇市松尾区一三九

普天間

沖繩那覇市松尾区一三九